

平成23年度
平群町政策基本体系表

平成24年8月

奈良県 平群町

資料目次

○平群町政策基本体系表について	… P 1
○予算科目（款別）	
1. 議会費	… P 2
2. 総務費（一般管理費 ～ 監査委員費）	… P 3～P 10
3. 民生費（社会福祉総務費 ～ 人権交流センター運営費）	… P 11～P 18
4. 衛生費（保健衛生総務費 ～ 上水道施設費）	… P 19～P 22
5. 労働費（失業対策総務費 ～ 労働諸費）	… P 23
6. 農林水産業費（農業委員会費 ～ 農業集落環境整備事業費）	… P 24～P 25
7. 商工費（商工総務費 ～ 観光費）	… P 26～P 27
8. 土木費（土木総務費 ～ 住宅管理費）	… P 28～P 31
9. 消防費（非常備消防費 ～ 水防費）	… P 32
10. 教育費（教育委員会費 ～ 体育指導委員事業費）	… P 33～P 42
11. 災害復旧費、公債費、予備費	… P 43

平群町政策基本体系表について

平群町政策基本体系表は、行政活動（行政サービス）などの事務事業を政策体系別に分類し、個々の事業を自ら点検（行政評価）し、その結果を、「予算・決算」や「平群町総合計画」及び「住民意識調査」に反映させるとともに、その結果を町民の皆さんに積極的に説明していくことなどを目的としたものです。これは、職員が町民の視点に立って、事務事業が何の目的で誰のために行っているのかを明確にし、その成果は何か、本当に町民が望んでいるものなのかを検討し、公表することにより、行政の責任と信頼の向上を図り、各事務事業の現状を認識し、課題や改善方策を検討するなど、効果的で効率的な行財政運営を目指すものです。

○平群町政策基本体系表の目的

政策基本体系表は、その年度において、事業が計画どおり実施され成果が得られたか、また、効率的に予算執行できたかを分析評価し、それをもとに改善策を検討し、次年度以降の事業実施に活かすことを目的にしています。

○行政評価

「行政評価」とは、「自治体経営システム」における“PDCA”マネジメントサイクル（P：Plan計画、D：Do実施、C：Check監視、A：Action改善）の中で、CheckとActionの機能を担うものです。平群町では、効果的で効率的な行財政運営を行うため、全事務事業を対象に事務事業評価を実施し、平成19年度より「平群町政策基本体系表」を作成、公表しています。政策体系表の公表内容について皆さんからご意見やご提言をいただき、さらにシステムの充実・改善に向けて取り組んでいきたいと考えております。

○平群町政策基本体系表の見方

- ・「事務事業」 … 予算科目における事務事業。
- ・「評価」 … 西和7町や類似団体等との比較を中心とした相対評価です。（※行政内部の自己診断で、外部評価ではありません。）
評価基準： A（標準以上） B（標準） C（標準以下）
- ・「平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況」 … 事務事業担当課における平成23年度事務事業の概要と執行状況。
- ・「平成24年度実施における現状と課題」 … 事務事業担当課における平成24年度の現状と今後の課題。
- ・「第4次総合計画位置付 有・無」 … 第4次総合計画における位置付の有無の表記。

○平群町政策基本体系表の課題

総合計画・住民ニーズ・事務事業・予算・決算・行政評価が連動したマネジメントサイクルとして更なる精度向上を図ること。そして、こうした資料を基に、町民の皆さんへの積極的な説明責任（アカウンタビリティ）を確保し、同時に多くの方からご意見・ご提言をいただけるシステム設計が必要です。また、町としては、予算編成等と相互に連動させることにより、より実効的な行政経営を目指していきます。

事務事業の分類精査と各事業毎の予算決算の状況分析まで行うことが必要です。

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
1	1	1 議会費	82,919,329	118,561,000	106,713,169	議会事務局					
						議会事業	議会事務局	B	<ul style="list-style-type: none"> ・会議録を作成し、役場情報公開室、あすのす平群に配置し、住民の閲覧に供している。 ・会議録印刷部数:25部。 ・議案配布は、議員、理事者に各個配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議録を作成し、役場情報公開室、あすのす平群に配置し、住民の閲覧に供している。 ・会議録印刷部数:25部。 ・議案配布は、議員、理事者に各個配布。 ・会議録は、今後ホームページに掲載し住民への情報提供を行う。 	無
						議会広報事業	議会事務局	B	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だより編集委員会により議会だよりを発行。 ・発行月は、5月、6月、8月、11月、2月の年5回で、7,350部印刷し全戸配布。 ・町ホームページに議会だより(PDF版)を掲載し、住民の閲覧を可能にしている。 ・各議員の一般質問を掲載 ・各議員の議案に対する表決結果の賛否一覧表を掲載。 ・H22年5月1日発行の議会だより(225号)よりカラー印刷(表紙はフルカラー、2色刷り)に刷新。 ・ホームページには、定例会の日程、一般質問の発言順序を掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だより編集委員会により議会だよりを発行。 ・発行月は、5月、6月、8月、11月、2月の年5回で、7,400部印刷し全戸配布予定。(5、6、8月は発行済み) ・町ホームページに議会だより(PDF版)を掲載し、住民の閲覧を可能にしている。 ・H24年5月1日発行の議会だよりより、カラー印刷から白黒印刷に変更。 ・ホームページには、定例会の日程、一般質問の発言順序を掲載。 	無
						議会基本条例関係事業	議会事務局	A	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の活性化及び開かれた議会を構築するため、議会基本条例をH22年3月議会で可決。 ・H22年4月より、議会基本条例施行。 ・議会基本条例に基づき、一般質問は一問一答方式とし、議会報告会、議会懇談会が位置付けられた。 ・H23年度は、議会報告会をH23年11月20日に開催。 ・議会懇談会:1回開催(H23年10月28日) ・H23年4月に町議会議員の一般選挙が実施されたことにより、議会運営員会で基本条例の検証を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会改革特別委員会では、議会インターネット中継について検討を行なっている。 (4月18日:鳥羽市議会の視察を実施。5月29日、7月23日委員会開催) ・議会基本条例に基づき、議会報告会開催を行う。 	無

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
2	1	1	一般管理費	1,146,491,806	459,772,000	467,626,967	総務財政課 総合政策課				
						職員の資質 向上と人材 育成事業	総務財政課	B	・管理職を対象とした人事考課の試行実施と全体職員研修及び個別研修。(アカデミー・JIAM)	・人事考課の本格実施とその定着化及び実効性の確立。	有
						栄典関係 事務事業	総務財政課	B	・S53年度より実施し、これまで227名の方々が自治功労者として受賞された。	・被表彰基準の検討。	有
						情報公開 制度事業	総務財政課	B	・条例に基づき情報公開に努めるとともに開示対応を行う。 ・H23年度の開示請求は公文書開示が15件で、条例に基づき、開示、一部開示等の対応を行っている。	・情報公開制度のPR等を行いながら積極的に行政情報の開示に努める。	有
						財政事情の 公表事業	総務財政課	B	・条例等に基づき、予算、決算等の財政状況を、町掲示板、広報、ホームページで公表。	・現在、広報、ホームページで公表しているが、財政諸表を活用し、よりわかりやすい公表を目指す。	有
						親切美化 県民運動事業	総務財政課	B	・親切美化奈良県民推進協議会と連携し、クリーンアップ作戦を実施。 ・参加者及びコースの拡大を図る。	・住民参加型の運動推進に向け、企画づくりを行う。 ・花の町を提唱していることから、花づくりボランティアの醸成に努める。 ・「手のひらの会」の活動が休止していることが課題。	有
						広域連携事業 (生駒郡町村会)	総合政策課	B	・全国町村長大会など首長を対象とした大会等への参加や、隔年ごとに生駒郡総合防災訓練を実施。 ・生駒郡内の各種団体への活動助成。	・既存の事業については、予算に基づき執行しているが、現在のところ、4町の町長を対象とした大会等への参加、1年おきに開催する生駒郡総合防災訓練の実施(H23年度開催)、生駒郡内の関係団体への活動助成などを実施。 ・本来の広域行政事務の検証と検討を行うことが、今後の4町の財政状況や人事効率を展望するうえで、必要な取組であり課題。	有
						法規事務	総務財政課	B	・法規ソフト「じょうれいくん」の有効活用と、担当職員の育成を行う。	・専門性の強い業務のため、担当者の育成に努める。	無
						個人情報保護 制度事業	総務財政課	B	・条例に基づき個人情報保護に努めるとともに開示対応を行う。 ・H23年度個人情報開示請求は1件で、条例に基づき開示、一部開示等の対応を行う。	・個人情報の保護を中心に法や条例の趣旨に従い運用	有
						文書管理 事業	総務財政課	B	・保存場所の確保及びシステム開発。 ・従来の制度や文書管理体制の見直しを行う。	・効率性を追求し、効果的な公文書管理の徹底に努める。 ・職員研修、文書管理委員会等の開催により、運用ルールとシステムの定着化を目指す。	無
						総人件費 の削減	総務財政課	A	・ほぼ計画どおりに削減が進んでいるが、一時的には、組織全体として厳しい労務環境を生じさせているのも現状。	・民間委託の検討や次のステップとして組織機構の見直し検証が必要。また、業務の見直しも行いながら、無理のない人件費削減を目指す。	無
						行政組織 の再構築	総務財政課	B	・現行組織の再検証を行い、より最適な組織化を目指す。実施が少々遅れている。	・常に組織の現状チェックを行い、H24年度内に組織再編を行い、組織の最適化を目指す。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
						庁舎管理 事業	総務財政課	B	・老朽部分を補修にて対応している現状。	・庁舎自体が、大規模災害発生時に耐え切れない構造にあるのが課題であり、財政状況を見ながら中長期的に建て替え等を含めた検討が必要。	無
						予算編成・ 財政指標、 起債管理、 地方交付税	総務財政課	B	・予算編成については、枠配分方式を採用し、従来の財政課査定方式から、枠内での原課査定方式を採用し、財政を組織全体で認識することを目指す。	・様々な角度から財政分析を進め、持続的で計画的な健全財政の確立を目指す。	有
						財政計画 策定事業	総務財政課	C	・適宜、中長期の行政運営をにらんだ財政計画の策定を行うが、不安定財政が続く中、新たな健全化計画の策定が出来ていない。	新たな財政健全化計画に基づく財政計画の策定。	有
						予算の執行 管理事業	総務財政課	B	・日常的に予算管理審査の徹底を図り、経理倫理の徹底を図る。	・財務システムを有効活用し、予算は使い切るものという発想を払しょくし、適正な執行管理の徹底に努める。	有
						町有バス 運行事業	総務財政課	B	・年間使用回数が130回程度あり、増加傾向。	・公務の必要性の高いもの、緊急を要するものを優先使用させ、公平で安全かつ効率的な運用をめざし、抜本的なことも含め、新たなルールづくりに着手。	無
						土地開発公社 の経営健全化	総務財政課	A	・新たな公社経営健全化計画を実行する中、公社解散に向けた取り組みを進めた。	・H24年度中の解散に向けた取り組みを推進。	無
						よろず 相談業務	総合政策課	A	・毎月2回(第1・3火曜日)開催。 ・町顧問弁護士、人権擁護委員、行政相談員、民生児童委員を相談員として、各種相談に応じている。 ・合計23回開催、128件の相談があり、家事や民事など多岐にわたる相談内容であった。	・住民生活が多様化、複雑化する中で、行政が関与する「よろず相談」に対する需要やニーズは増加傾向にあり、今後益々この傾向が強まるものと考えられる。 ・7月末現在で8回開催。	無
2	1	2	文書広報費	1,733,243	2,193,000	1,825,747	総合政策課				
						広報発行 事業	総合政策課	B	・広報紙を毎月1回、14ページを基本に、7,650部を編集発行し、大字・自治会を通じて各世帯に配布した。 ・ページ数の制約がある中、多岐にわたる記事を厳選しつつも創意工夫を行い、充実した内容になるよう編集に心がけ、有料広告を掲載し財源確保に努め、町ホームページにも掲載し、町内外への重要なPRのツールとしても活用。	・発行回数12回/年(月1回)14頁～16頁(行事等により増加有)1色刷 発行部数7,650/回 ・H23年度と同様、1色刷りで紙質を薄くしての発行。 ・ページ数の制約がある中、多岐にわたる記事を厳選しつつも創意工夫を行い、有料広告を掲載し財源確保に努め、より充実した内容になるよう編集に心がける。	有
						ホームページ 管理事業	総合政策課	B	・多岐にわたる各課からの行政情報を集約、編集し、委託業者を通じてページの更新(随時)を行うなどの日常の管理運営業務を実施。 ・H23年度は、交付金を活用し全面的なリニューアルを実施し、各方面から頂いた意見を参考にし、掲載記事の見直しや検索機能を追加などの一層の充実を図った。 ・バナー広告を掲載(延38件)し財源確保に努めた。 ・アクセス数:1日平均約230件、月平均約7,000件、年間延べ85,000件。	・H24. 6月末現在で41,265件のアクセス数。 ・リニューアル後のメンテナンスや機能の拡充など、今後も情報化時代に対応して迅速性を活かし、行政と地域をつなぐメディアとして、行政情報をはじめ、観光・文化・農業・歴史など幅広い情報発信を行い、その活用を図る。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
2	1	3	会計管理費	29,558,666	31,099,000	30,696,323	会計課				
						会計事務	会計課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公金の出納、保管、管理。 ・各種伝票等の確認、審査。資金計画。 ・決算の調整及び提出。 ・物品(事務用品)の一括購入及び管理。 ・通常郵便物の一括配送。 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内LANによる財務会計システムを出先機関を含め職員単位での運用で事務が迅速になった反面、不備な伝票も多いため、マニュアル等を作成し周知するなど、適切でより効率的な会計事務に努める。 ・主に使用する物品(事務用品)は、単価入札し、経費節減に努める。 	無
2	1	4	財産管理費	64,458,476	53,622,000	50,516,590	監理課				
						財産管理	監理課	B	<ul style="list-style-type: none"> ①財産台帳により財産の移動を把握。 ②町有財産の貸付の実施。 ③草刈並びに樹木の伐採剪定等による維持管理を行う。 ④緊急雇用創出事業を活用し公有財産管理台帳デジタル化業務をH22、23年度の継続事業として実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財産管理は適正な維持管理が中心である。 ・町有地の売り払いについては、必要に応じてチーム20を開催する。 ・公有財産管理台帳(デジタル化)整理に伴う各課との調整を実施する。 	無
						集会所の 設置に伴う 補助事業	監理課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に自治会より申請を受け、予算確保を行う。 ・事業実績報告書等の提出をもって事業完了の審査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年以上経過した施設が多く、改築改修の要望があるが、厳しい財政状況であり、要望内容については、十分に精査する。 	有
						業者格付・ 業者選定・ 指名願 受付事務	監理課	B	<ul style="list-style-type: none"> ①入札制度の研究、指名願定期申請ならびに町内業者格付(隔年実施)及び、選定委員会の開催。 ②指名業者の選定、随意契約の合議。 ③竣工・完了検査の実施等。 ④H24・25年度入札参加資格審査申請書の受付を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価落札方式及び一般競争入札について、調査・研究し必要に応じて実施する。 ・H24・25年土木工事・建築工事・舗装工事・水道工事の業者格付けを実施する。 	無
2	1	5	財政調整 基金費	22,378,493	4,226,000	11,632,843	会計課 総務財政課				
						基金管理	会計課 総務財政課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計、特別会計合わせて17基金の適正な運用管理の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き適正な基金管理を行う。 	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
2	1	6 企画費	53,285,765	66,635,000	61,294,688	総合政策課					
						総合計画 策定事業	総合政策課	B	・現行の第4次総合計画がH24年度末で計画期間が満了することから、次期第5次総合計画の策定に向けた取り組みとして、庁内策定組織を設置、策定方針を定め、現計画の検証、各種基礎調査、住民アンケート調査等の実施し、策定委員会、審議会も開催し、基本構想、基本計画の骨子(案)の作成などの各種策定業務を進めた。	・全員協議会を開催し、第4次総合計画検証結果の報告・5次総合計画策定の進捗状況の報告を行った。 ・7月末現在で、総合計画策定委員会を6回、審議会を4回開催し、基本構想の骨格(案)・基本計画(素案)について協議を行っており、本年度中の策定を目指している。	有
						広聴事業	総合政策課	A	・要望書、各種メールの收受、ご意見箱(1箇所)の設置や各種団体との懇談会の実施など、広く意見を聴取した。(自治会要望書:56件、各種団体要望書:17件) ・11月19日、26日は住民説明会を開催し、延78人の参加者があった。	・住民への説明責任を果たすことが重要であり、引き続き行政からの積極的な情報提供や働きかけを行う。 (6月末現在:自治会要望書:29件、各種団体要望:6件) ・11月に、住民説明会を開催予定。	有
						出前講座 事業	総合政策課	A	・町行政に対する理解を深めて頂くことを目的に、自治会など団体からの要請により、H15から実施しており、町行政の様々なテーマについて住民への説明や意見交換を行った。(H23年度開催実績:12回(内訳:防災関係6件、福祉教育関係3件、コミバスその他3件))	・地域の方々に気軽に開催してもらえるよう、総代・自治会長会議等において、そのPRに努めている。 ・6月末時点利用実績は、ごみ関連1件、駅前開発1件、防災1件で、143人の参加があった。	有
						広域連携 事業	総合政策課	B	・一部事務組合(5組合)や法定協議会(1協議会)による広域事務処理や、各種大会等への参加、職員研修の実施、広域内の関係団体への活動助成などを行った。	・一部事務組合や法定協議会による広域事務処理や、各種大会等への参加、職員研修の実施、広域内の関係団体への活動助成などを行っている。 ・H24.5月より、生駒市との公共施設の相互利用に向けた協議を進めている。	有
						行政評価 事業	総合政策課	A	・事務事業の見直しなど、効率的で効果的な行政施策を目指し、政策基本体系による施策評価を実施。 ・第5次総合計画策定に向けた住民意識調査で、諸施策に対する重要度、満足度評価の実施。	・H23年度の行政施策や実績について、政策基本体系による政策評価を実施。	有
						秘書業務	総合政策課	B	・町長、副町長が行政トップとしてのマネジメント業務が円滑に行えるよう、スケジュール管理や連絡調整などの秘書業務を行う。	・町長、副町長が行政トップとしてのマネジメント業務が円滑に行えるよう、スケジュール管理や連絡調整などの秘書業務を行う。	無
						議会連絡 調整業務	総合政策課	B	・議会の行政側の総合窓口として、円滑で効率的な会議運営のため、日程調整、案件ヒアリング、総合調整、全体取りまとめなどの業務を実施。	・議会の行政側の総合窓口として、円滑で効率的な会議運営のため、日程調整、案件ヒアリング、総合調整、全体取りまとめなどの各種事務を行う。	無
						行政組織 連絡調整 業務	総合政策課	B	・行政戦略会議、課長連絡会議、課長所属長会議などの基幹会議を定期的に開催し、庁内の情報共有、連絡調整、総合調整などの業務を実施。	・行政戦略会議、課長連絡会議、課長所属長会議などの基幹会議を定期的に開催し、庁内の情報共有、連絡調整、総合調整などの業務を実施。	有
						行財政改革 全般	総合政策課	B	・行財政改革大綱を基本指針とした新財政健全化計画の進捗管理と新たな行革施策の立案に向け、行革推進会議等を開催。	・新財政健全化計画は概ね計画どおりの進捗状況であるが、今後の厳しい財政見直しに対応するため、更なる健全化(案)を検討、実施に向け、行財政改革推進会議を開催。(6/25、7/25)	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業概要及び執行状況	平成24年度実施における現状と課題	第4次総合計画位置付(有・無)
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)						
2	1	7	公平委員会費	92,400	93,000	92,400	監査委員事務局				
						公平委員会事務	監査委員事務局	B	<ul style="list-style-type: none"> 職員の勤務条件に関する措置の要求及び不利益処分の審査等を行う。 定期的な委員会の開催。 委員並びに事務局の計画的な研修等の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 法的に設置が義務付けられている委員会であることから、各委員の研鑽の場を設ける。 	無
2	1	8	交通対策費	516,108	566,000	2,871,013	住民生活課				
						交通安全対策事業	住民生活課	B	<ul style="list-style-type: none"> 園児・児童に正しい交通ルール、マナーを身につけるための交通安全教室を実施。 高齢者の交通事故が増加している状況から高齢者対象の交通安全教室を開催。 平群駅前第1駐車場が土地区画整理事業により閉鎖となり、第2・第3駐車場を一体にして駅前駐輪場を整備。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して交通マナーを身につけるための交通安全教室等の啓発事業を実施。 	有
2	1	9	防犯対策費	6,058,007	6,479,000	6,352,935	住民生活課				
						生活安全推進事業	住民生活課	B	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会・各校の防犯意識が高まり、子ども110番の家の協力家庭、店舗の普及を図り、301軒の協力により設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き子ども110番の家の普及に努める。 	有
						防犯対策事業	住民生活課	B	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1日・15日に青色パトロールを実施。 各自治会においても近年防犯意識が高まっており、自主防犯活動が実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の防犯意識の高揚に努め、定期パトロールを実施。 	有
						防犯灯対策事業	住民生活課	B	<ul style="list-style-type: none"> 現在、町管理防犯灯は577基、自治会管理は2,145基となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な設置、管理を行う。 省エネタイプ(LED)への変換を進める。 	有
2	1	10	自治振興費	5,116,920	5,197,000	5,187,210	総合政策課				
						住民協働(自治会・各種団体・NPO等との連携)事業	総合政策課	B	<ul style="list-style-type: none"> 様々なまちづくりの諸施策について、の企画立案、実施を住民との協働で行う。 大字自治会とは定期的な会議で情報共有を図り、NPOや各種団体とは、分野毎に随時懇談会や具体的な施策を実施するなど、住民協働を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各施策の分野で、住民との協働や取り組みの検討・推進を行う。(随時、各種懇談会の実施。) H24. 6. 13 町ボランティア連絡協議会との懇談会を開催。 	有
						自治会及び自治連合会関係業務	総合政策課	B	<ul style="list-style-type: none"> 総代・自治会長会議の開催(年2回) 大字・自治会、自治連合会の運営、及び総代、自治会長の活動に対する補助を実施。 掲示板設置に対する補助を実施。 自治連合会、公開講演会、県外研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大字、自治会、及び自治連合会は、まちづくりにおける地域コミュニティの要であり、総代・自治会長会議などの情報共有や、運営や活動に対する補助など継続した支援を行う。 自治連合会関係:公開講演会、県外研修会の実施。 	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
2	1	11	防災諸費	75,545,702	8,332,000	26,406,453	総務財政課				
						国民保護計画	総務財政課	B	・国民保護法に準拠した運用。	・国民保護法に準拠した運用。	有
						非常用食料等 備蓄業務	総務財政課	B	・流通備蓄(協定締結)に努め、協力企業の拡大や 保存備蓄の拡充を図る。	・分散備蓄の拡充を図る。	有
						防災行政 無線の運用 業務	総務財政課	B	・デジタル化を完了させ、現在運用中。(課題として、 聞き取りにくい地域が有り。) ・Jアラートを整備し、防災行政無線と連動させ運用。	・防災行政無線の弱点(聞き取りにくい)を補完するた め、メール配信や、ホームページの活用を行ってい る。	有
						防災体制 の充実	総務財政課	A	・自主防災組織設立の推進。 ・防災訓練の実施。 ・要援護者名簿の更新。 ・地域防災計画の全面見直し。 ・被災者支援システムの運営。	・引き続き自主防災組織設立の推進。 ・防災訓練の実施。 ・要援護者名簿の更新。 ・地域防災計画の全面見直しの完成。 ・避難所運営マニュアルの策定。 ・災害対策本部運営マニュアルの策定。 ・被災者支援システムの運営。	有
2	1	15	人権擁護 対策費	229,000	254,000	237,000	総務財政課				
						人権擁護 対策業務	総務財政課	B	・人権擁護委員活動支援のための、業務支援及び視 察研修、集会等への参加。	・人権擁護委員活動支援のための、業務支援及び視 察研修、集会等への参加。	有
2	1	24	コミュニティバス 推進事業費	15,915,254	39,700,000	39,984,060	総務財政課				
						コミュニテイ バス事業	総務財政課	B	・11月より、地域公共交通連携計画に基づき、新たな ルート編成(2系統、3ルート)により運行。	・引き続き、公共交通利用促進に向け、新ルートでの コミバスを実証実験として運行。	有
						地域公共交 通 連携事業	総務財政課	A	・法定の「地域公共交通連絡協議会」を運営し、コミ バスを中心に公共交通の利用促進を図る。	・バス・鉄道・タクシー等の公共交通機関をうまく連携 させ、公共交通の利用促進を図り、住民の「交通権」 確保。	有
2	1	25	情報政策費	11,225,156	15,587,000	14,828,960	総合政策課				
						情報基盤 整備事業	総合政策課	A	・基幹スイッチ及び本町内のフロアスイッチを更新し、 住記系ネットワークと内部情報系ネットワーク両方の 耐障害性を高めた。 ・住記系ネットワーク端末40台を5年リースで更新。	・6月末で内部情報系ネットワーク機器のリースが終 了するため、ソフトウェア類については7月に更新し、 ハードウェア類については12月に更新予定である。	有
						情報処理 業務	総合政策課	A	・内部情報系システムと住民情報系システムの管理 を一本化し、全庁的に一括してシステム操作権限を 管理する仕組みを構築。	・ハードウェア・ネットワークの管理者が、各アプリケー ション・システムの管理者を一人の職員が兼任してお り、人材育成が課題である。	有
						情報 セキュリティ 業務	総合政策課	A	・住民情報系システムにおいても、内部情報系システ ム同様のセキュリティシステムを導入し、ハード面に おいては全庁的な整備が完了した。	・7月2日にセキュリティポリシーを改訂したが、情報 セキュリティはあくまで「人間」が基本であるため、引き 続き職員研修を実施し、職員の情報セキュリティに対 する意識を高めていく。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
2	2	1	税務総務費	90,634,953	95,052,000	80,651,704	税務課				
						税務総務 事業	税務課	B	・税務業務に従事する職員の人件費の他、関係機 関等への負担金等の執行。	・継続実施。	無
2	2	2	賦課徴収費	41,590,277	31,983,000	28,862,413	税務課				
						町税賦課 徴収業務	税務課	B	・公正、公平な課税の推進を目指し業務を行う。 ・徴収率の向上を目指し、差押等の滞納処分を行っ ている。	・公平、公正な課税の推進 ・確定申告の国税連携による課税業務の推進。 ・電子申告(e-Tax)の推進 ・納税環境の整備(コンビニ収納等)	無
2	2	3	固定資産評価 審査委員費	12,000	13,000	12,500	監査委員 事務局				
						固定資産 評価審査 委員会事務	監査委員 事務局	B	・固定資産課税台帳に登録された価格(評価額)に 対する不服審査等を行う。 ・固定資産税率の引き上げに伴い不服審査が多くな ると考えられていたが、評価替え年であったH21年度 は申立件数は0件で、H22、23年度においても、土地 価格の時点修正を行ったが、それに対するの申立は 両年度とも0件であった。	・法律等に基づき、定められた審査事務を適宜に行 う。 ・H24年度は、評価替えの年に当り、不服審査が多くな ると想定していたが、審査申出期間内の申立件数 は0件であった。 ・今後は、審査に対する問い合わせ等も予想される。	無
2	3	1	戸籍住民 基本台帳費	66,669,160	65,404,000	60,998,482	住民生活課				
						戸籍・住民 基本台帳 事務事業	住民生活課	B	・住民記録システム並びに戸籍システムの運用を円 滑に行った。公的個人認証の機器更改を行った。 ・住民登録機器に関しては、H24年度施行の外国人 の住民票へ編入の為、新しい住民記録システムの導 入準備を進めた。	・4月より新機器を導入し、順調に運用中。 ・7月より住民基本台帳法改正により、外国人の対 象者を含む住民票発行可能な機器を導入し運用中。 ・H24年度以降に必要な住民基本台帳ネットワーク機 器更改の検討を行なう。	無
2	3	2	外国人登録 事務費	8,617,835	8,346,000	8,342,637	住民生活課				
						外国人 登録事務	住民生活課	B	・外国人登録法が廃止となり、住民票に編入される 為、該当者の調査を行い仮住民票を作成、住基シ ステムへの移行作業を行った。	・該当する外国人の住民登録への移行を行い、7月9 日から運用している。	無
2	4	1	選挙管理 委員会費	1,539,750	468,000	472,452	総合政策課				
						選挙管理 委員会事務	総合政策課	B	・定期的な選挙管理委員会の開催。 ・定時登録、裁判員候補者、検察審査会候補者の選 考、農業委員会委員選挙人名簿の調整などの選挙管 理委員会事務局の事務を実施。	・定期的な選挙管理委員会の開催。 ・定時登録、裁判員候補者、検察審査会候補者の選 考、農業委員会委員選挙人名簿の調整などの選挙管 理委員会事務局の事務を実施。	無

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業概要及び執行状況	平成24年度実施における現状と課題	第4次総合計画位置付(有・無)
款	項	目(目)名称	決算額(円)	当初予算額(繰越含)(円)	決算見込額(繰越含)(円)						
2	4	5	県知事選挙費	2,388,344	7,824,000	4,357,441	総合政策課				
						選挙事務	総合政策課	B	・奈良県知事選挙の執行。(4月10日) ・当日有権者数:16,865人、投票者数:9,731人、投票率:57.70%	—	無
2	4	6	県会議員選挙費	1,954,099	7,804,000	4,796,096	総合政策課				
						選挙事務	総合政策課	B	・奈良県議会議員選挙の執行。(4月10日) ・当日有権者数:16,865人、投票者数:9,709人、投票率:57.57%	—	無
2	4	8	町議会議員選挙費	0	11,381,000	10,212,845	総合政策課				
						選挙事務	総合政策課	B	・町議会議員選挙の執行。(4月24日) ・当日有権者数:17,006人、投票者数:10,895人・投票率:64.07%	—	無
2	4	9	農業委員会委員選挙費	0	2,567,000	230,864	総合政策課				
						選挙事務	総合政策課	B	・農業委員会委員選挙の執行(7月5日) ・定数内立候補者のため、無投票。	—	無
2	5	2	指定統計費	94,080	904,000	473,000	経済建設課				
						統計調査	経済建設課	B	・国の指定統計調査業務。 ・H23年2月1日基準日で497事業所を対象に経済センサス調査を実施。	・H24年10月1日基準日で就業構造基本調査の実施。 ・H24年12月31日基準日で工業統計調査の実施。 ・H25年2月1日基準日で住宅・土地統計調査の単位数設定を実施。	無
2	5	3	人口動態調査費	23,040	30,000	24,300	住民生活課				
						人口動態調査事務	住民生活課	B	・毎月、出生・死亡等の人口動態を調査、関係機関へ報告を行った。	・毎月、出生・死亡等の人口動態を調査、関係機関へ報告を行う。	無
2	6	1	監査委員費	11,497,053	9,070,000	8,984,543	監査委員事務局				
						監査事務	監査委員事務局	A	・監査計画に基づき、例月出納検査、定期監査、決算(水道事業会計・一般会計、特別会計)等の審査を実施。 ・住民監査請求への対応。 ・財政健全化法により、H19年度決算より財政健全化比率の審査を実施。 ・財政再建団体、早期健全化団体になると外部監査が強制適用となることから、監査委員の役割が重要視されている。	・法律等に基づき、定められた監査事務を適宜に行う。 ・現在、平群町においては監査事務を「自前」で行っているが、「個別外部監査の導入」や「監査委員事務局の広域化」など、法改正を念頭に、県の作業部会等で議論されていることを踏まえ、町として一定の考え方を示していく必要がある。	無

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
3	1	1 社会福祉 総務費	212,654,669	232,191,000	227,281,664	福祉課 健康保険課					
						社会福祉 総務総括	福祉課	B	・福祉業務に従事する職員の人件費の他、町社会福祉協議会等への補助、三室園運営負担金等の執行。	・行政と地域・ボランティアを繋ぐ地域福祉活動の要を社協に担ってもらっているのが現状である。行政としては社協に更なる財政的支援を行い、連携を更に推し進め、地域福祉の向上を図らねばならない。	有
						民生児童 委員事業	福祉課	A	・民生児童委員協議会に対し補助金を交付し、住民と行政とのパイプ役となり事業の円滑な進捗に寄与する。 ・要援護者名簿の作成及び更新。 ・小地域ネットワーク等組織の中心的役割を果たす。	・援助等を必要とする者が、自分の意志に沿った福祉サービスが利用出来るよう情報提供等の援助を行っている。住民に対し、身近で接している点も踏まえ、福祉・保健・医療等の連携に不可欠な存在である。 ・個人情報保護の関係で情報提供が限られ民生委員活動が困難になっている。 ・H22年12月より民生児童委員が一斉改選され定数も1名増員。	有
						生活保護・ ホームレス 対策事業	福祉課	B	・生活に困窮する住民に対し必要な保護を行い、最低限度の生活を保障する。	・県中和福祉事務所、民生児童委員、平群町が連携し生活困窮者の生活を見守りながら、1日も早く保護を受けず自立した生活を送れるよう助長する。 ・ここ数年は生活困窮者が増加し、相談・申請とも件数が非常に増加している。	有
						戦没者 追悼式事業	福祉課	B	・戦没者を追悼し、平和を祈念する戦没者追悼式を毎年10月に実施。	・継続実施	有
						特別弔慰金 支給事業	福祉課	B	・戦没者等の遺族に対して国より弔慰金を支給。住民の窓口として受付を行い、請求書等を奈良県を通じ国へ送付。	・継続実施	無
						福祉有償 運送事業	福祉課	B	・高齢者や障害者など公共交通機関を利用して移動することが困難な人を対象に、通院等を目的に行う有償送迎サービスで、事業は社協が実施。町は協議会で業務報告を行う。	・継続実施	無
						国民健康 保険事業	健康保険課	A	・国民健康保険事業は、健全な財政運営を確保することにより、社会保障及び国民保険の向上に寄与することを目的とする。 ・6月議会でH23年度適用の税率改正、12月議会でH24年度適用の税率改正を実施。 ・税収確保のため収納率向上に努めた。(現年度収納率97.5%・県下町で2位)	・国民健康保険制度は、都道府県単位を用途に広域化できる法律改正が行われ、奈良県では、H22年12月に広域化等支援方針が策定され、現在、この方針に沿った取り組みがなされている。 ・国では、社会保障と税の一体改革が論議されており、今後、医療制度がどのように変わっていくのか、国の動向を注視する必要がある。	無

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目				H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
3	1	2	老人福祉費	224,297,484	228,781,000	270,861,109	福祉課					
							シルバー人材センター事業	福祉課	B	・高齢者に健康で生き甲斐のある生活を送れるように臨時的、短期的で軽易な就業の機会を提供している。補助金を交付し、事業の円滑な進捗に寄与する。	・会員数は130名を超え受注金額も徐々に増加傾向であるが、国の補助金削減など運営が厳しい状況である。町は雇用拡大等の推進に向けて、安定した運営が図れるよう支援する必要がある。	有
							介護保険給付管理	福祉課	B	・介護保険料給付の適正化を図るため、H23年度より、給付費の明細書を利用者に送付。	・介護保険料の公平、公正な徴収及び、介護給付適正化に向け、厳正な事務執行を行う。 ・第5期計画がH24年度からの3年間の期間で始まり、急激な高齢者の増加と給付費の増大が予想される。	有
							地域包括支援センター	福祉課	B	・高齢者が住み慣れた地域で出来る限り継続して生活を送れるように、個々の高齢者の状況やその変化に応じた適切なサービスや多様な支援を提供する。 ・予防教室(体操・老化の予防等)を実施。	・高齢者人口の増加等様々な課題に対応できる組織の在り方を検討するため、現状と課題を分析し、円滑な運営が図れるよう体制についてH24年度中に方向性を出す。	有
							要介護認定調査	福祉課	B	・H23年度の介護認定調査件数は1,049件あり、そのなかでも、新規介護認定調査は対前年度比30%増加している。	・新規の介護認定調査は法で町職員と定められ、関係課の協力をもって調査してきたが、関係課の業務量が増加するなかで協力体制が困難となっていることから、H23年度から調査員配置計画を立て、H24年7月から1名配置。	有
							住宅改修費支給事業	福祉課	B	・住宅の手すりの取り付けや段差解消など、要介護者がいつまでも自宅で自立した生活を営むために必要とする小規模な住宅改修に係る費用の一部を一定の限度内で支給。	・継続実施	有
							敬老会(長寿十傑含む)	福祉課	B	・長年にわたり社会に貢献された高齢者の長寿を祝い、労をねぎらうことにより、ますますお元気で活躍されることを期待し開催。	・本年9月第三月曜日に開催。 ・本来の高齢者の長寿を祝い、労をねぎらう事からイベント開催にとどまらず、高齢者を地域で支える活動へ発展させることが望まれる。	有
							福祉用具貸与及び購入事業	福祉課	B	・日常生活の自立を助けるため、車椅子、ベッド等を貸与する。浴槽の椅子等入浴や排泄に使用するポータブルトイレについては購入費を支給する。	・今後も住民に対し広く情報提供を行い、福祉用具の貸与や購入が利用できるようにする。	有
							地域支援事業	福祉課	B	・生活機能低下の恐れがある高齢者を基本チェックリストで抽出し、介護予防ケアマネジメントを実施し、自立した生活が継続できるよう運動機能向上等に取り組む。	・継続実施	有
							家族介護用品支給事業	福祉課	B	・在宅の要介護高齢者に紙おむつ及びおむつカバー等を支給。	・奈良県事業がH20年度に廃止、単独事業として継続実施。	有
							ホームヘルプサービス事業	福祉課	B	・町単独事業で、要介護認定で自立と認定された特定高齢者等で社会的に援助が必要な方に対し、自立した生活を継続できるよう、外出時の援助、必要に応じて掃除等、日常生活上の援助を行う。	・H24年度から軽度生活援助事業として、65歳以上の1人暮らし及び高齢者のみ世帯に、家事援助や軽易な家の周りの草ひき、病院の付き添い等の援助を実施。介護認定者は、在宅介護サービスの対象外サービスを援助する。	有
							食の自立支援サービス	福祉課	B	・定期的に栄養バランスの良い昼食を配食し、食の自立と安否確認を行う。	・継続実施。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目				H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
3	1	4	障害者福祉費	209,220,250	220,643,000	228,419,873	福祉課					
							福祉タクシー補助事業	福祉課	B	・重度心身障害者(児)の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図る。(基本料金を町が負担、24枚/年)	・タクシー業界での割引制度もあるが、低所得者のみ対象に実施している。 ・継続実施。	有
							障害関係等手帳発行事業	福祉課	B	・手帳の交付は県において行われており、町は申請書を受理し、県に送付する。県からは申請者へ交付するように町に手帳が送付される。	・継続実施。	有
							自立支援医療(更生医療)費支給制度	福祉課	B	・18歳以上の身体障害者手帳所持者で手術等の治療医療費にかかる自己負担額を軽減する。	・継続実施。	有
							補装具交付等事業	福祉課	B	・自立支援給付によって、補装具の購入、修理に要した費用について支給する。	・継続実施。	有
							日常生活用具給付等事業	福祉課	B	・地域生活支援事業として、障害者に自立した日常生活を支援する用具の給付等を行う。	・継続実施。	有
							紙おむつ等支給事業	福祉課	B	・在宅の寝たきりの身体障害者(65歳未満)で、かつ常時失禁状態にある方に支給する。(所得制限あり)	・継続実施。	有
							西和7町障害者自立支援協議会	福祉課	A	・西和7町に居住する障害者のために障害福祉サービスを総合的に調整、推進することを目的とした中立・公平な立場での運営を行う。	・継続実施。	有
							自立支援医療(精神通院医療)費支給制度	福祉課	B	・精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図るための医療費であり、県が事業主体であり、支給決定を行う、町は申請を受理し県に連絡する。	・継続実施。	有
							地域生活支援事業	福祉課	B	・コミュニケーション支援と社会参加を促進する重要な事業であり、社会福祉協会に委託している。	・継続実施。	有
							自立支援給付事業	福祉課	B	・障害者に対して介護サービスを行う。	・継続実施。	有
3	1	6	老人福祉総務費	35,636,738	37,233,000	35,775,220	健康保険課					
							老人保健事業	健康保険課	B	・H20年度から後期高齢者医療制度が創設されたことにより、H19年度末までの老人保健法に基づく医療費の給付(過誤調整)等実施。 ・老人保健特別会計は、法令に基づきH22年度末で廃止。	・H24年度は、一般会計において予算措置し、診療報酬等の精算処理業務のみ行う。	無

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)	
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)							
3	1	9	福祉医療費	97,300,196	100,855,000	100,845,921	福祉課					
						老人医療費 助成事業	福祉課	B	<ul style="list-style-type: none"> 老人に対し医療費の一部を助成し老人の心身の健康の保持及び福祉を図る。 ・(町単)通常償還方式で支給。 ・一部負担金についても町負担。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県単制度がH17年度8月より段階的廃止され、H22年7月末で終了。 ・町単事業として継続してきたH20年8月より町単事業も段階的に廃止し、H25年7月末日で終了となる。 	無	
						心身障害者 医療費 助成事業	福祉課	A	<ul style="list-style-type: none"> ・心身障害者に対し医療費の一部を助成し、心身障害者の健康維持及び福祉の増進を図る。 ・(県単)障害者手帳1・2級又は療育手帳 A1、A2保持者に助成(自動償還)。 ・(町単)障害者手帳3級・1種4級又は療育手帳B1、B2保持者に助成(自動償還)。 ・一部負担金についても町負担。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H19年度対象者:174名。 ・H20年度対象者:189名。 ・H21年度対象者:208名。 ・H22年度対象者:228名。 ・H23年度対象者:244名。 以上のとおり対象者の増加。 	無	
						重度老人心身 障害者医療費 助成事業	福祉課	A	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢対象者の心身障害者に対し医療費の一部を助成し、心身障害者の健康維持及び福祉の増進を図る。 ・(県単)障害者手帳1・2級又は療育手帳 A1、A2保持者に助成(自動償還)。 ・(町単)障害者手帳3級・1種4級又は療育手帳B1B2保持者に助成(自動償還)。 ・一部負担金についても町負担。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H19年度対象者:277名。 ・H20年度対象者:276名。 ・H21年度対象者:284名。 ・H22年度対象者:267名。 ・H23年度対象者:271名。 以上のとおり対象者の増加。 	無	
						精神医療費 助成事業	福祉課	A	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図るため医療費の自己負担額を助成。 ・自立支援で認定された医療機関及び調剤薬局での自己負担分を助成。 ・一部負担金についても町負担。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H18年度より、支援制度に組み込まれ自己負担が5%から1割に変更。対象者は、年々増加の傾向にある。 	無	
						乳幼児医療費 助成事業	福祉課	A	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児を療育している者に対し、当該乳幼児に係る医療費の一部を助成し乳幼児の健康保持及び福祉の増進を図る。 ・(県単)自動償還方式で支給。 ・(町単)所得制限で県単非該当になった方を町単で助成(自動償還)。 ・一部負担金についても町負担。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「乳幼児医療制度の拡充を」の声が多く聞かれるなか町単事業として、平成24年8月より入院のみ小学校卒業まで拡充した。更なる拡充、また窓口負担軽減の声にも応えるためにも県事業として拡充されるよう要望。 	無	
						母子医療 助成事業	福祉課	A	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年8月より母子からひとり親家庭等に拡大され、ひとり親家庭の健康の保持増進を図るため、医療費の一部を助成しひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上を図る。 ・ひとり親家庭等に助成(県単のみ)。 ・一部負担金については、町負担。 ・H23年8月制度名改正「ひとり親家庭等医療費助成制度」 	<ul style="list-style-type: none"> ・H19年度対象者:280人。 ・H20年度対象者:308人。 ・H21年度対象者:295人。 ・H22年度対象者:255人。 ・H23年度対象者:308名。 (内訳 母117名子174名 父7名子10名) 	無	
3	1	10	行路病人及び 死亡人取扱費	0	263,000	41,524	福祉課					
						行路死亡人 葬祭業務	福祉課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・行路死亡人の遺体処置・納棺・遺体搬送・火葬・官報広告等の手続きを行う。 ・H23年度:1件発生。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度7月現在:1件発生。 	無	

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
3	1	12	高令者文化・ スポーツ振興 交流事業費	245,000	245,000	245,000	福祉課				
						老人クラブ活動 費補助事業・ 高齢者文化 スポーツ振興 交流事業	福祉課	B	・県補助事業である平群町長寿会連合会会員の補助及び、高齢者スポーツ・文化活動に対して補助金の交付。	・継続実施。	有
3	1	19	日常生活用具 給付等事業	155,074	332,000	237,052	福祉課				
						緊急通報 装置設置 事業	福祉課	B	・一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯等に対するの緊急時の通報体制により安全・安心をサポートする。	・H24年度より、緊急通報サービスに改正。 ・今まで利用者からの通報は協力員→救急隊であったが、コールセンターで受信し、状況に応じて救急隊又は協力員という流れに変更。健康相談等24時間受けている。	有
3	1	21	老人福祉施設 措置事業費	1,500,840	2,002,000	1,573,451	福祉課				
						老人措置 事業	福祉課	B	・65歳以上で、生活環境や経済的理由等により居宅において養護を受けることが困難なものを養護老人ホームへの入所措置を講じる。	・継続実施。	有
3	1	23	いきいきふれ あい事業費	451,620	528,000	463,740	福祉課				
						乳酸菌飲料 配布サービス 事業	福祉課	A	・おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者、及び高齢者夫婦等で、近くに身寄りのない者に乳酸菌の配布により、利用者の健康増進と安否確認を行う。	・H24年度から、緊急通報サービスに見守り体制を改正したことにより、乳酸菌配付事業は廃止。	有
						訪問理 美容 サービス	福祉課	B	・要介護度(4・5)の方が対象であり、自ら出向くことが困難な方に対して出張理美容サービスの提供を実施。	・継続実施	有
3	1	32	プリズムへぐり 管理費	16,229,928	16,037,000	20,182,246	健康保険課				
						プリズムへぐり 管理運営	健康保険課	B	・施設の設備、備品修理。 ・貸館業務の更なる充実と検討。 ・施設に係る光熱水費の削減に努力したが、電気料金等の値上げにより増。	・施設の維持管理については、今後も節電、節水等を行う。 ・引き続き、福祉・健康・教育・住民の交流・憩いの場として、適切な管理運営を行う。	有
3	1	35	後期高齢者 医療費	199,958,766	208,224,000	207,551,332	健康保険課				
						後期高齢者 医療制度	健康保険課	B	・H20年度から後期高齢者医療制度が創設されたことにより、後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、市町村と事務を分担して運営を行っている。	・H24・25年度(第3次)保険料改定が実施された。 ・国では、社会保障と税の一体改革が論議されており、今後、国の動向に注視する必要がある。	無

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
3	2	1	児童福祉 総務費	290,847,689	310,667,000	298,347,686	福祉課				
						保育園通常 保育事業	福祉課	A	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉法第35条の規定に基づき、保育に欠ける乳児又は、幼児を保育する。 保護者が働いていたり、病気であるなどの理由の為、家庭において十分保育できない児童を家庭の保護者に代わって保育を行う。 複数担任制。 保育料の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> めまぐるしく移り変わる社会情勢の中、保護者や園児を取り巻く生活の場(特に子育て)は非常に困難となってきた。保護者の仕事保障及び援助、子育て支援の必要性があり保育園の担う役割も大きい。その中で保育園児も増え受け入れ態勢を整えながら途中入園児の受け入れも行っている。 H23年度は園児数が4月:204人、10月:219人と増え地域社会のニーズに出来るだけ沿うように努力している。 子育てに対する不安を持っている母親が多くなって中、未就園児に対する支援の必要性も高くなっている。 	有
						障害児 保育事業	福祉課	A	<ul style="list-style-type: none"> 保育に欠ける児童のうち心身に障害を有する児童の保育。 	<ul style="list-style-type: none"> 核家族化、地域社会の変化など、母子を取り巻く育児環境(母親の妊娠中の環境も)が大きく変化し、子ども達の成長発達にも何らかの影響を与えていると考えられるが、情緒面、言語面で気になる子どもが増えるなど事業の必要性は依然高いと考えられる。 	有
						一時預かり 事業	福祉課	A	<ul style="list-style-type: none"> 就労形態の多様化に対応する一時的な保育や、専業主婦家庭等の育児疲れの解消、緊急時の保育等に対応する為に、はなさと保育園において事業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 例年4、5月と新学期は利用人数が少なく、夏期には幼稚園児の利用者が増える。2学期から新たな利用者も増えて人数も安定してくる。 家族の入院等、緊急での受入れに対して「とても助かった」等、喜ばれることが多い。 	有
						長時間保育 事業	福祉課	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の就労形態の多様化、長時間の通勤等に伴う保育時間の延長に対する需用に対応する為、通常保育時間を超えて保育を必要とする園児の保育を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の社会進出、経済的理由などにより増々需要は増えている。保育体制が整備され、内容充実(土曜軽食も実施される)もあり喜んでいただいている。保護者のニーズにこたえるためにも現状維持が必要であるが夕方の延長保育の利用者数の増加に伴い担当保育士の確保がむづかしく課題である。 	有
						町外保育 事業	福祉課	A	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉法第35条の規定に基づき、保育に欠ける乳児又は、幼児を保育する。 保護者が働いていたり、病気であるなどの理由の為、家庭において十分保育できない児童を家庭の保護者にかわって保育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> めまぐるしく移り変わる社会情勢の中、保護者や園児を取り巻く生活の場(特に子育て)は非常に困難となってきた。保護者の仕事保障及び援助、子育て支援の必要性があり保育園の担う役割も大きい。その中で町内保育園では、対応できない児童を広域入所という形で他市町村に委託をしているが、受入先市町村も、保育園のニーズが高くなってきており、今後、希望どりの入園について難しい環境になってきている。 	有
						児童福祉 事務事業	福祉課	B	<ul style="list-style-type: none"> 保育園2園及び町外保育の入園決定及び児童福祉に関する業務を行う。 保育園2園及び町外保育の入園決定 保育料決定及び各種補助申請。各種協議会事務を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、南保育園84名/定員110名、はなさと保育園123名/定員130名、町外保育20名を実施。 	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業概要及び執行状況	平成24年度実施における現状と課題	第4次総合計画位置付(有・無)
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)						
3	2	2	児童措置費	311,675,944	364,092,000	313,397,985	福祉課				
						子ども・児童手当支給事業	福祉課	B	・児童を養育している方に手当を支給することにより家庭における生活安定に寄与することを目的としている。	・H24年4月より新たに児童手当として実施。 ・3歳未満:15,000円 ・3歳以上小学校修了前:10,000円(3人目15,000円) ・中学生10,000円 ・所得制限超過者5,000円	無
						児童扶養手当支給事業	福祉課	B	・離婚等の母子・父子家庭で18歳までの児童を看護している母に手当を支給する。	・手当金支給は県業務であるが申請・調査・相談は町で実施。	無
						特別扶養手当支給事業	福祉課	B	・一定の障害のある20歳未満の児童を養育している人に手当を支給する。	・手当金支給は県業務であるが申請・調査・相談は町で実施。	無
3	2	3	保育園費	35,366,318	31,301,000	33,056,680	福祉課				
						保育園事業	福祉課	B	・保育園に必要な施設管理・修繕・給食費等児童の保育に必要な整備、供給を行う。 ・市内に幼保一体化PT会議を設置し、町長に対して中間報告を行った。	・H27年4月に平群南保育園と平群幼稚園を統合した新園開園に向けて、用地買収・建築物の設計を行う。また、新園開園に合わせて、はなさと保育園の設備の更新計画を立てる。	有
3	2	7	子育て支援センター管理費	18,962,393	17,499,000	21,416,536	福祉課				
						子育て支援センター事業	福祉課	A	・子育て不安や負担感の軽減を図ると共に、親が親として育つ過程を経験出来る取り組みを大切に、地域の様々な連携を生み出して、子育てしやすい町づくりを目指す。	・毎日開館、「子育て広場おいでおいで」、子育てサークル支援、子育てサポートクラブ(託児)、誕生会のへぐら～OMによる運営、各種機関や住民との連携などによる企画の実施など「地域ぐるみでの子育て、親支援と親育ち」こそが課題であることが明らかになってきた。地域の中で親の自主活動も始まっている。	有
3	2	8	学童保育運営費	24,485,990	25,154,000	24,899,452	教育委員会				
						放課後児童健全育成事業	教育委員会	B	・学童保育所を272日開所し、延約1,751人の児童の利用があった。 ・開所時間等についてのアンケート調査を実施し、ニーズ調査を行った。 ・指導員の雇用条件と財政上の問題を考慮しながら、少しでも利用者のニーズにあった学童保育の運営が出来るよう、新年度に向けて開所時間拡大等の検討を行った。	・H24年4月から保育時間を延長し、子育て支援・就労支援を拡充している。指導員の雇用条件の変更を行い、指導員を各学童で1名づつ増員し、保護者や児童への確な対応ができるよう研修等も行っている。 ・今後、安定的な指導員の確保を図っていかねばならない。	有
3	5	1	国民年金事務取扱費	9,771,854	8,911,000	8,694,757	健康保険課				
						国民年金事務取扱事業	健康保険課	B	・国民年金事務取扱事業は、年金にかかる申請免除及び裁定請求や追納相談等年金についての事務手続きや相談、照会業務を実施している。	・法定受託事務となった国民年金等に関する事務を、年金機構・年金事務所との協力、連携のもとで申請免除及び裁定請求や年金についての相談業務を行う。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越金) (円)	決算見込額 (繰越金) (円)						
3	6	1	災害救助費	0	22,000	0	福祉課				
						防災体制 の充実	福祉課	—	・災害等が発生した場合、障害のある方や高齢者など要援助者など、被害を受けた方へ支援を行う。 ・H23は執行なし。	・災害等が発生した場合、障害のある方や高齢者など要援助者といわれる方々は、被害を受けやすく避難に手助けが必要であるので、その体制づくりを行う。	有
3	8	2	ふれあい 推進事業費	577,172	4,888,000	4,388,861	総務財政課				
						ふれあい 推進事業	総務財政課	B	・「差別をなくす強調月間行事」や「命のメッセージ集会」の開催を中心に事業実施。	・事業展開としては、少しマンネリ化も否めず、新たな事業展開の模索が必要。 ・事業の目的に照らした中身の工夫を行う。	有
						人権啓発 事業	総務財政課	B	・人権啓発活動推進本部活動を中核に、街頭啓発や、上部団体主催の各種イベントへの積極参加。	・人権啓発活動推進本部活動を中核に、街頭啓発や、上部団体主催の各種イベントへの積極参加。	有
3	8	3	平和啓発 推進費	45,888	100,000	15,581	総務財政課				
						平和啓発 推進事業	総務財政課	A	・平和現地学習会の開催や「平和のための戦争展」を実行委員会にて企画実施。	・引き続き、住民主体の実行委員会形式で、平和啓発イベントを企画から実行にわたり実施。	有
3	8	4	男女共同 参画社会 推進事業費	147,000	174,000	130,250	総務財政課				
						男女共同 参画事業	総務財政課	B	・関係課と連携し、啓発事業を実施。 ・「男女平等条例」策定に向けた研究。 ・特定事業主行動計画の啓発。	・講演会等をメインに啓発事業を実施。 ・次期「男女共同参画プラン」策定の準備。	有
3	8	6	人権交流 センター運営費	21,982,806	20,256,000	20,847,930	教育委員会				
						人権交流 センター 運営事業	教育委員会	B	・交流センターの事業として、相談事業・講習会(ふれあい教室、珠算、習字)・短期講習会(花の寄せ植え、あみぐるみ等6教室)・学習会・地域促進事業など(6団体)を実施。 ・貸館事業:年間稼働率27.1%。運営審議会で審議し、今後の活用のしかたについて対策を講じていく。	・人権教育学習会、短期講習会(花の寄せ植え教室)、子どもふれあい教室、生活学校等計画通り進めている。 ・人権と福祉のまちづくりの拠点施設であり、施設の運営状況、利用状況を検証し、人権交流センターの運営上の課題解決のため運営審議会で協議し、施設運営及び事業を進めていく。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業概要及び執行状況	平成24年度実施における現状と課題	第4次総合計画位置付(有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
4	1	1	保健衛生総務費	78,624,563	81,240,000	80,673,640	健康保険課				
						保健衛生総務事業	健康保険課	B	・保健業務に従事する職員の人件費の他、関係機関への各種負担金等の執行。	・人材の育成及び資質の向上を図る。	有
4	1	2	予防費	34,524,846	63,821,000	53,909,303	健康保険課				
						予防接種	健康保険課	B	・日本脳炎予防接種は、順次積極的勧奨の再開や法改正による接種年齢の緩和により、個別通知や広報・学校等を通じた周知を行い、スムーズな実施ができた。 ・子宮頸がん等ワクチン接種についても、同様に周知し混乱なく実施し、高い実施率を得られた。	・今年度9月よりポリオ生ワクチンが、不活化ワクチンに一斉切り替えとなることに伴い、個別接種に移行し接種回数も増加する。 ・子宮頸がん等ワクチン緊急促進事業は、24年度も継続実施されている。来年度には定期接種となる見込みであり、これらの導入に伴い財政負担が増大することが課題である。スムーズな移行に向けて、周知をはじめとして準備を進める。	有
4	1	3	母子保健事業費	10,906,054	12,285,000	10,399,678	健康保険課				
						母子各種健診・相談	健康保険課	B	・妊婦健診は、地方交付税措置と県の基金による補助を財源として、H21年以降、14回の公費負担を行った。	・現状の妊婦健診の公費助成は、県の基金がH24年度まで延長されたが、次年度については明確にされていない。国県の動向を注視していく。	有
						訪問指導	健康保険課	B	・訪問等は、全数把握により必要に応じたサービスに繋げて、虐待防止対策を図る。	・今後も、実施方法を工夫しつつ継続して実施する。	有
						子育て支援	健康保険課	B	・継続して実施することにより、母子保健及び子育て支援対策の水準向上を目指す。	・継続して実施することにより、母子保健及び子育て支援対策の水準向上を目指す。	有
4	1	4	健康増進事業費	20,464,136	26,740,000	24,787,327	健康保険課				
						健康増進事業	健康保険課	B	・各種健(検)診の受診率向上を目指し、取り組みの充実強化を図る。	・健康へぐり21推進事業との一体的な取り組みを推進する。	有
						精神保健事業	健康保険課	A	・啓発活動の充実強化を図る。	・啓発活動、相談窓口の充実強化を図る。	有
						健康へぐり21推進事業	健康保険課	B	・事業の基盤となるヘルスボランティアの育成を図る。 ・H23年度はアンケート調査を実施。	・計画の最終評価年であるH24年度に向けて、計画達成のための事業を実施する。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
4	1	5	環境衛生費	71,776,687	81,224,000	71,694,563	住民生活課				
						リサイクル館 運営事業	住民生活課	A	・H20年7月移転後、提供者・利用者が増加傾向。 ・リサイクルフェアのイベントも実施し、更なる住民のリユース(再使用)の意識改革を呼びかけた。	・住民の利用促進に努め、循環型社会の構築を図る。	有
						生活排水 対策事業	住民生活課	B	・水質改善の啓発を行い、地域住民の意識高揚を図った。 ・廃食用油の回収拠点を6カ所に増設し、2,350ℓを回収、BDF(バイオディーゼル燃料)へ転換しごみ収集車両に利用。	・廃食用油の回収量は年々増加はしているが、さらなる回収ができるよう取り組んでいる。	有
						合併処理浄化 槽設置整備 事業補助金	住民生活課	B	・合併処理浄化槽の設置に対し補助を行っており、13基の補助を実施した。	・補助基準額の国、県、町それぞれ1/3の補助制度で、設置に対して補助を行う。(16基の設置見込)。	有
						生活環境 衛生事業	住民生活課	B	・水質、大気、土壌などの検査を西和衛生試験センター(一部事務組合)で実施し、環境基準の監視を行った。	・継続実施。	有
						空き地管理 指導事業	住民生活課	B	・6月、10月の年2回、空き地175件に雑草除去の指導を行い、町が受託した件数は71件、15,085㎡であった。	・引き続き空き地所有者へ適正な管理指導を行い、良好な生活環境の確保に努めている。	有
						狂犬病 予防事業	住民生活課	B	・犬の登録・異動等の管理を行っており、新規登録は79頭(全体1,364頭)であった。 ・4月に7会場で狂犬病予防注射を実施した。	・現状維持。	無
						不法投棄 防止対策 事業	住民生活課	B	・関係機関と連携し不法投棄防止対策を実施、また緊急雇用創出事業で夜間の監視パトロールを実施した。	・関係機関と連携し、防止対策を継続して行い、緊急雇用創出事業での夜間の監視パトロールは6月より実施している。	有
4	1	8	健康づくり 推進事業費	360,900	565,000	353,240	健康保険課				
						すこやか レディ健診	健康保険課	A	・受診率向上を目指して、取り組みの充実強化を図る。	・受診率向上を目指して、取り組みの充実強化を図る。	有
4	1	14	斎場運営費	33,611,480	34,563,000	35,100,270	住民生活課				
						野菊の里 斎場管理 運営事業	住民生活課	B	・斎場施設の利用は人体火葬273体、動物火葬224頭、葬祭棟で通夜・告別等の使用回数は160回であった。 ・火葬炉の2、3号炉内台車の耐火ブロックの修繕工事を実施。	・施設供用開始から8年目を迎え施設の維持管理費について、今後必要となる修繕や更新費用等の検討が必要である。	有
4	2	1	清掃総務費	98,172,723	96,441,000	97,242,838	住民生活課				
						ごみ分別 啓発パンフ 作成	住民生活課	B	・プラスチック製容器包装廃棄物の分別収集の啓発用パンフレット8,500部作成し、家庭へ配布。	・ごみ収集、分別方法のわかりやすい啓発パンフレットの作成に努める。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)	
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)							決算見込額 (繰越含) (円)
4	2	2	塵芥処理費	214,114,756	273,426,000	240,734,391	住民生活課					
							塵芥処理 事業	住民生活課	B	・町内から排出された6,385トンの一般廃棄物ごみを収集処理。 ・焼却炉の運転を委託により実施した。また一部地域のごみ収集を委託により行った。 ・H23年4月よりごみ出し困難世帯を対象にふれあい収集として14件を実施。	・現状を維持し町内から排出されるごみを適正に処理している。焼却炉運転業務委託また、収集業務一部委託している。 ・ふれあい収集を引き続き実施する。。	有
							ごみ減量化 事業	住民生活課	B	・プラスチック製容器包装廃棄物の全町ステーション収集に向け取り組んだ。H24年1月からモデル地区で分別収集を開始し、資源化処理への行程を確立した。	・老朽化している焼却炉を延命し、安定的に継続的にごみ処理を進めていくために、さらなるごみ減量化対策として、プラスチック製容器包装廃棄物(ペットボトル・トレイ・廃プラ)の全町収集を4月から開始。	有
							不燃物 処理事業	住民生活課	B	・不燃物処理は、資源ごみ(カンビン)134,650kg、粗大ごみ423,680kg、有害ごみ10,545kg、ペットボトル19,925kg、トレイ7,055kg、廃プラ35,500kgを収集処理した。	・引き続き資源ごみの分別収集を行ない、循環型社会を目指し住民の理解と協力が得られるよう取り組む。	有
							残灰搬入 事業	住民生活課	B	・大阪湾フェニックス処分場で758トンの処理を行った。	・ごみの焼却処理の減量化に努め、残灰処理の減量や埋設焼却灰の対処に取り組む。	有
							焼却炉 運営業務	住民生活課	B	・炉の運転を委託。 ・稼動後20年が経過し、設備機器の老朽化に伴う損傷、修繕箇所の点検を行い、大規模修繕工事を実施した。	・炉の運転は引き続き委託。 ・設備機器の点検及び老朽箇所の修繕工事を実施し延命化に努める。	有
4	2	3	し尿処理費	277,179,033	270,281,000	262,822,964	住民生活課					
							し尿処理 業務	住民生活課	B	・し尿、汚泥7,995klの処理を行った。	・3か所の集中処理浄化槽区域が公共下水道へ接続されることで、施設の閉鎖に伴う臨時的な汚泥の処理量が増える見込みである。	有
4	2	6	廃棄物減量 推進事業費	5,059,080	8,507,000	7,205,246	住民生活課					
							廃棄物 減量推進	住民生活課	B	・清掃センター施設の延命と、地球温暖化防止、環境保護と循環型社会の構築に向けた取り組みとしてごみの減量化、リサイクルを推進した。 ・自治会のごみ集積所整備として、13自治会86箇所に対し補助を行い、またごみ散乱防止ネットの配布は、31自治会で377枚の配布を行った。	・焼却処理の減量化と資源の再利用を図るため、プラスチック製容器包装廃棄物(ペットボトル、トレイ、廃プラスチック)の全町収集を実施した。 ・ごみ集積所整備に対する補助及びごみ散乱防止ネットの配布は、集積所の適正な管理が図れるよう引き続き実施している。 ・ごみの減量を図るため、家庭ごみ有料化実施に向け取り組みを行なう。	有
							有価物集団 回収団体 補助金	住民生活課	B	・古紙類、古布、アルミ缶の集団回収に対し年2回の補助を実施、39団体で回収量は919tで、助成金4,595,000円を交付。	・さらなる有価物の集団回収への取組強化に向けた啓発に努めている。	有
							ごみ減量 容器等 補助事業	住民生活課	B	・家庭生ごみ処理機(容器)設置に対し補助を行い、30件の設置で94,400円の補助を実施。	・住民への普及促進を図るよう周知に努めている。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
4	3	1	簡易水道 施設費	69,739	77,000	10,660	上下水道課				
						簡易水道 事業	上下水道課	B	・簡易水道地区(信貴山地区)施設の維持管理。	・現状維持。 ・現在の施設が老朽化が進み維持管理ができなくなった時点で、簡易水道廃止に向け信貴山寺地区と協議が必要となる。	有
4	3	2	上水道 施設費	10,000,000	10,000,000	10,000,000	上下水道課				
						上水道事業	上下水道課	B	・簡易水道債の元利償還金及び人件費(他会計補助金)。	・現状維持。 ・償還期限が平成46年3月30日であるので、繰入金 の確保が必要である。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
5	1	1	失業対策 総務費	12,099,779	12,116,000	11,501,772	経済建設課				
						雇用対策 事業	経済建設課	A	・国の緊急雇用創出事業補助金を活用し、町内の史跡や観光施設、道路、公園などの公共施設の草刈、維持管理、清掃との環境整備を実施するとともに、地域の雇用を促進した。	・H23年度に引き続き、国の緊急雇用創出事業補助金を活用し、同種の業務を実施。	無
5	2	1	労働諸費	0	5,000	0	福祉課				
						労働諸費	福祉課	—	・国の失業対策事業の実施上、必要となる事務に係る経費。H23は執行なし。	・労働施策については、主として国の施策を中心に行ってきたが、労働福祉の観点からも町独自の施策を検討する必要がある。	無

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)						
6	1	1	農業委員会費	22,891,036	22,176,000	21,840,756	経済建設課				
						農業委員会事務	経済建設課	B	・委員の任期満了に伴い、H23年7月20日より委員数が3名減の19人で、毎月委員会を開催し、農地の権利移動、転用賃貸借等を審議した。	・農地の貸し借り・売買・転用に関する申請受付及び許可、農地の納税猶予制度の諸証明に関する事や農業者年金・農業及び農村の振興に関する事務を適正に執行する。	無
						農業者年金事務費	経済建設課	B	・農業者年金の加入促進、及び農業者年金事務(現況届・死亡による差し止め請求・加入対象者名簿管理等)。	・農業者年金の加入促進、及び農業者年金事務を適正執行していく。	無
6	1	2	農林業総務費	7,163,330	4,506,000	9,107,375	経済建設課				
						土砂等による土地埋立て等の規制	経済建設課	A	・本町の盛土及び切土行為に必要な規制を行い、生活環境の保全及び災害の防止を図る。 ・農地造成等の条例に基づく事業について適正に事務執行する。より実効性の高い条例とする改正(案)を作成。	・H24年6月議会で条例改正。 ・H25年1月1日施行に向け周知し、適正な条例運用を図り、生活環境の保全及び災害の防止を図る。	有
6	1	3	農林業振興費	13,629,196	65,456,000	58,414,467	経済建設課				
						里山林整備事業	経済建設課	B	・里山林整備事業は、H22年で終了したが、奈良県森林環境税がH27年度まで延長され、H23年度から「地域で育む里山づくり事業」として事業継承されたことに伴い、ボランティア団体により竹林整備が実施された。	・H23年度の事業実施は1団体であったが、H24年度より2団体となった。 ・H27年度まで補助事業として継続されるが、自然環境保全の里山づくり事業について町施策を検討する必要がある。	有
						遊休農地解消モデル事業	経済建設課	B	・さつまいもによる平群ブランドの芋焼酎「里の恵」及び農産物を加工した商品開発に取り組んだ。 ・さつまいもの収穫体験を実施した。 ・近畿大学農学部と連携を図り、マコモタケの栽培に取り組んだ。	・さつまいものほか、米粉用の米、もち米、黒大豆を作付けした。今後、農産物の栽培管理及び商品開発に取り組む。 ・近畿大学農学部と連携を図り、マコモタケや農作物の栽培、また、栽培農家の拡大に向け取り組む。	有
						有害鳥獣駆除事業	経済建設課	B	・有害鳥獣駆除として、防護・捕獲施設の補助や、イノシシ駆除の奨励補助などの助成事業、猟友会平群支部の協力により有害鳥獣駆除事業を実施。 ・町独自の取り組みの他、広域3市町(生駒市、三郷町)で設立した協議会を通じて鳥獣害総合対策事業に取組みイノシシ・アライグマの駆除を実施。	・今後も継続して、イノシシ・アライグマの対策に3市町広域で連携をとり駆除等の対策に取り組む。 ・今年度の協議会の事業として、イノシシ・アライグマの捕獲檻、防除柵に対する補助金の交付申請手続き中である。	有
						農地・水・環境保全国上対策事業	経済建設課	B	・水路の泥上げや農道の点検、草刈等の適切な保全管理や、水路、農道沿いに花の植付け等を行う農村環境向上活動の実践に対する補助事業。 ・上庄地区、樺原地区において、地域の協働による環境整備等として、H19年度から5ヶ年の取組み事業として、H23年度で完了した。	・H24年度以降事業として継続しないが、それぞれの地域での取組みを継承していくよう指導していく。	無

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業概要及び執行状況	平成24年度実施における現状と課題	第4次総合計画位置付(有・無)
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)						
						ふれあい農園事業	経済建設課	B	・町民が野菜・花等を栽培して自然にふれあうとともに、農業に理解と親しみをもってもらうことを目的に、町内3ヶ所(109区画)で貸農園として実施。	・ふれあい農園の適正な維持管理及び、貸農園の推進を図る。	有
						農業基盤整備事業	経済建設課	B	・上庄地区内で水路改修工事(延長103m)を実施。 ・地元施工による農業用水路改修工事に対し規程に基づき助成を行った。	・農道及び、農業用施設の改修や、災害復旧等に必要な助成を規程に基づき実施する。	有
						水田農業構造改革事業	経済建設課	B	・水田農業ビジョンに基づき米の需給調整や転作を行うことにより水田農業経営の安定を図る。 ・農業者戸別所得補償制度を推進し、水田等の有効活用により農業を振興する。	・国の施策に基づき、適正執行する。	有
						地域産業活性化検討業務	経済建設課	A	・緊急雇用創出事業を活用し、農産物の販路拡大や6次産業化の可能や具体的な検討など、基幹産業を基軸とした新たな農業戦略ビジョンの設定を目標とした地域産業活性化検討業務を委託。	・農業基盤の強化を図り、持続可能な活力ある地域産業全体の活性化に繋げていく。 ・生産から加工、流通、販売までのサイクルの確立を目指し、町の活性化に繋がる仕組みを構築する。直売所・加工施設の検討を図る。	有
						活性化センター検討業務	経済建設課	A	・緊急雇用創出事業を活用し、道の駅を拠点とした施設の機能強化を図るため、活性化センター検討業務を委託。	・町の活性化の拠点として、施設の機能強化及び情報発信機能の強化を図り、地域振興に繋げる。 ・活性化センターのリニューアルを実施する。 ①直売所の増設：花卉・花木の販売所として、グリーンハウスを増設。 ②老朽化した陳列棚のリニューアル。 ③レストランのリフォーム：座敷を撤去し、「和」から「洋」へ室内イメージをナチュラルでカジュアルな雰囲気仕様に仕器も含めリニューアル。	有
6	1	12	国土調査費	7,084,963	7,544,000	7,399,879	監理課				
						地籍調査事業	監理課	B	①地籍調査システム管理 ②地籍調査に伴うデータ管理 ③地籍修正業務	・現在、担当が兼務1人体制になったため事業実施が困難な状況であり、窓口業務や次年度より事業再開に向けての準備作業を中心に実施している。また、緊急雇用事業を活用して人材確保を図る予定である。	無
6	1	39	農村集落環境整備事業費	19,854,828	22,555,000	21,605,943	上下水道課				
						農業集落排水事業	上下水道課	B	・福貴畑地区農業集落排水処理施設の維持管理。	・水洗化を促進する。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
7	1	1	商工総務費	23,268,799	17,558,000	17,318,529	経済建設課				
						消費生活 相談事業	経済建設課	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日午前10時から午後4時まで実施。 ・H23年4月から生駒郡4町連携により、どの窓口でも利用できるよう相談窓口の拡充を図った。 ・多重債務無料相談会を実施。 ・消費者行政活性化助成事業を活用し、住民への啓発強化を図るため出前講座を実施し、消費者被害を防止するため、高齢者・若年層向けのパンフレットを作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も相談窓口の開設及び啓発出前講座、多重債務無料相談会を継続して実施し、消費者被害防止に努める。 ・身近な被害事例など広報等のツールを通じ啓発強化を図る。 ・国民生活センターと全国の消費生活センターをネットワークで結ぶ“パイオネット”を導入し、情報入手などの活用強化を図る。 	有
7	1	2	商工業 振興費	9,423,521	9,365,000	7,625,504	経済建設課				
						小口融資 利子補給 事業	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・町内中小企業者の金融の円滑化を図るため事業資金の融資斡旋を行い、中小企業の振興発展を資することを目的に1%の利子補給を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して実施する。 	有
						商工業者 債務保証料 補給事業	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・町内商工業者の成長発展及び振興に資するため、債務保証に係る保証料を5万円を上限に補給を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して実施する。 	有
7	1	3	観光費	21,377,348	52,014,000	55,296,268	経済建設課				
						観光基本 計画策定	経済建設課	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、第5次総合計画の観光部門の上位計画となり得る「観光基本計画策定業務」を委託。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平群を端的に表現でき親しみやすい「平群ブランド」ネーム及びマークを決定するため、5月に14人の委員による審査委員会を設置し、審査委員会を3回開催した。 ・今後、農作物や特産品をはじめとした商品や様々な場において「平群ブランド」を活用し、町内外に発信するとともに地域の活性化に繋げる。 ・「平群ブランド」ネーム及びマークが町民にととの誇りであり、町外者への品質保証を与えるものとしての機能を強化していく。 	無
						椿井城・ 信貴山城跡 整備構想 立案	経済建設課	A	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急雇用創出事業を活用し、「椿井城・信貴山城跡の整備構想」を委託し、椿井城跡南郭群周辺の樹木の伐採や登城道の整備及び道標を設置。 ・椿井城跡南郭に大のぼり4基を設置し、H24年3月30日設置式典を実施。 ・文化庁の補助メニューを活用し、国宝「信貴山縁起絵巻(飛び倉の巻)」のモザイクアートを作成し、信貴山朝護孫子寺内で展示。・555名の笑顔写真の応募があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦国時代の歴史遺跡を保全・保護の観点も視野に入れ、資源価値を向上させるとともに町内外に強く発信する。 ・今後、椿井城跡の北郭周辺や信貴山城跡の整備を予定している。 ・信貴山朝護孫子寺や門前、観光センター、信貴山エリア全体のネットワークを構築し、地域の活性化に繋げる。 ・文化庁の補助メニューを活用した2年目の計画として、笑顔写真を募集し、国宝「信貴山縁起絵巻(延喜加持の巻)」のモザイクアートを作成し、信貴山朝護孫子寺内で展示する。 	無

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目				H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
							へぐり時代 祭り	経済建設課	A	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年4月29日(祝)の第3回「へぐり時代祭り」開催し、約12,000人の集客があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内外から幅広い年齢層の人々が集うイベントを展開することにより、町おこしや観光振興を図る。 ・第4回時代祭りの開催に向け、ボランティアを募集し、実行委員会を設置し、イベント内容等の検討を行う。 ・安定的な財源確保と人的スタッフの確保が課題。 	有
							ハイキン 道等草刈 業務委託事業	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・十三峠から高安山ハイキング道及び、鳴川ハイキン グ道、椿井城散策道の草刈り業務を地元へ委託。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度と同様に今後も継続して実施する。 	有
							鳴川・信貴山 公衆トイレ 管理委託事業	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴川及び信貴山のトイレ維持管理業務を地元へ委託。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度と同様に今後も継続して実施する。 	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
8	1	1	土木総務費	4,153,870	13,675,000	19,737,610	経済建設課				
						土木総務事業	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> 土木事業に関する全般業務であり、各種協議会関係との調整や事業実施に向けた取り組みを実施。 各協議会との日程調整及び、各協議会への負担金の支出。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、継続した取り組みを行う。 	無
8	2	1	道路新設改良費	137,768,496	201,548,000	198,229,990	経済建設課				
						道路新設改良事業	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> 主要幹線道路の整備計画や、道路改良拡幅事業を実施。 H23年度では、北檜原83号線道路路肩改良拡幅工事と拡幅部分の用地買収を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 主要幹線道路網(都市計画道路含む)の見直し業務の発注を今年度実施する。 今年度の予定工事について、地元自治会と協議を行い、発注準備を行っている。 	有
						道路維持管理事業	経済建設課	A	<ul style="list-style-type: none"> H22年度繰越事業として、農免道路改良拡幅(第8期)工事と西山麓線外8路線の舗装補修工事を実施し、H23年度分は、四辻路線改良拡幅(第11期)工事や主要幹線4路線の舗装補修工事と上庄児童公園整備工事を実施。 毎月2回実施の町内公共施設の定期的な安全パトロールと各自治会や住民からの通報・要望に対して、道路台帳のデジタル化(GIS:地理情報システム)の導入により、公共物の補修、修繕箇所等の把握がスムーズになり、迅速な対応を行い、事故等を未然に防ぐように努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、中学校前路線の歩道設置工事や西山麓線(檜原地区)にLED照明の設置し、継続工事としては、上庄児童公園整備工事と主要幹線道路(8路線)の舗装補修工事を予定しており随時発注していく。 毎月の安全パトロールや自治会要望や通報に対して、迅速な対応を行っている。 	有
						道路認定・廃止・台帳整備業務	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> H23年度に、道路台帳の見直しとして、地理情報システム(GIS)を活用したデジタル化業務の委託発注を行い、紙ベースからデータベース管理へ移行した。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路台帳デジタル化の成果に基づき、H24年6議会にて、町内全域の町道路線の一括廃止・一括認定を本議会へ上程。 	有
						町道境界明示業務	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> 公共物(町道等)に隣接する地権者より、境界明示申請された箇所について、官民会の境界について、現地立会を行い、書面をもって境界確定書を作成する。 H23年度では、12件の境界確定を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 境界明示の申請時に随時対応している。 現地立会時に民々界の境界紛争、地図混乱区域により、未確定になる場合についての事務処理が今後の課題となる。 	無
						橋梁維持管理事業	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> H20～22年度に橋梁点検を行った15m以上の橋梁について、長寿命化修繕計画策定業務を補助メニューを活用して、実施するにあたり、県の関係機関と協議を行い28橋分の計画策定をH24年度で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> H24年度で実施する長寿命化修繕計画策定業務(15m以上の橋梁28橋)について、奈良県と基本協定を締結した。 	無
						道路照明設置維持事業	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> 主要幹線道路の夜間における交通状況を把握し、通過交通や歩行者等の安全性を確保すると共に事故防止に努める。 既存照明の維持管理については、随時対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> H24年度から年次計画を立案し、主要幹線道路に道路照明を新設(LED)を予定している。 H25年度以降も計画的に補助メニューを活用し、道路照明を新設設置(LED)していく。 今後の課題としては、既存照明のLED化については、補助採択がないため、財政部局とも協議し、財政状況を見据えながら実施していく。 	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)	
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)							決算見込額 (繰越含) (円)
						町道草刈り 委託業務	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> 町内幹線道路の街路樹については、業者委託による剪定業務を実施。 旧大字の主要幹線道路については、当該自治会へ草刈り業務の依頼を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> H24年度も継続して実施。 自治会での作業時に起こりうる事故等の安全対策について課題が残る。 	有	
						竜田川 遊歩道 整備事業	経済建設課	A	<ul style="list-style-type: none"> 町の中央部を貫流する竜田川沿いを県・町・近隣自治会・各種ボランティア団体で構成する「竜田川まほろば遊歩道整備構想推進協議会」のH23年度の整備計画に基づき、草花の植栽・竜田川(馬鋸淵付近)の河川清掃を実施。 11月の第3日曜日の竜田川クリーンキャンペーンは、前日の大雨により中止となったが、冬期(1月)には竜田川(西向地区)において、竹林等の伐採を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「竜田川まほろば遊歩道整備構想推進協議会」のH24年度事業計画に基づき、実施する。 	有	
						環境愛護 デー業務	経済建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> 毎年4月・9月の第3日曜日に町内全域の道路、公園等の清掃業務を地域住民の協力を得て実施。 住民協力により、収集された草・土砂等を運搬し処分を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月は実施済。9月に実施予定に向け現在準備中。 清掃時に収集される一般・不燃物ゴミの取扱や、水路清掃時に発生する汚泥等の処理については、町有地内で分別を行った後、処分を行っている。 	有	
8	4	1	都市計画 総務費	45,664,299	43,284,000	42,228,651	経済建設課 監理課					
						都市計画 総務事業	経済建設課	A	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画に関する総括事務として、都市計画決定・都市計画図販売・用途証明事務等を実施。 H23年度では、5月10日に定期線引きの見直し告示がされ、6月議会に於いて、地区計画の条例化、3月議会では、平群町工場等立地促進条例を制定し、土地利用の誘導を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度についても、線引き編入区域の商業施設の立地誘導。 市街化調整区域(上庄地区)において、企業誘致に伴う地区計画の決定に向け、8月8日に都市計画審議会を開催し、決定告示後、条例化に向け議会への上程を予定している。 	有	
						屋外広告 事務事業	監理課	B	<ul style="list-style-type: none"> 景観を保全する広告の整備を図る。 県内一斉の除却業務実施に加えて、毎月9日を「屋外広告物の日」と定め町独自の簡易除却を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 奈良県屋外広告物条例に基づき、許可申請手続き及び違法屋外広告物の除去を実施し、景観の保全を図る。 毎月9日「屋外広告物の日」の継続実施する。 	無	
						企業誘致 事業	経済建設課	A	<ul style="list-style-type: none"> 庁内において、プロジェクトチームを立ちあげ企業誘致に向けた誘致計画の検討を実施。 緊急雇用創出事業を活用し、「企業誘致における基礎調査業務」を行い、誘致指針・企業向けのパンフレット(5,000部)を作成し、企業アンケート調査等に基づき、企業訪問(9社)を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致は、将来の平群町のまちづくりの根幹となる地域の活性化や観光振興に繋がる施策であり、今後も奈良県の関係課や県内市町とも協力し、企業誘致に向け推進していく。 5月30日～6月1日に中小企業展(インテックス大阪)や7月9日開催の奈良県企業立地セミナー(帝国ホテル大阪)に参加。 上庄地区の企業立地に伴う、開発関係の業務を実施中。 	有	

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
						国土利用 関連事業	経済建設課	B	・一定の土地取引等があった場合、奈良県に進達する業務であり、法に基づき事務事業を行い、H23年度では1件の届出があった。	・法に基づく事務事業であり、届出がある場合、県に進達する。	有
						木造住宅 耐震診断 支援事業	経済建設課	B	・木造住宅(S56年5月31日以前に着工された住宅)に対し、事業要綱に基づき、町の6月広報・ホームページ等で一般公募し、H23年度の申請者8件に対して事業の実施。	・住民の防災意識を高めていく啓発活動として、東北の震災や自然災害の危機意識を高めて頂くために、6月広報・ホームページ等で、一般募集(15件)を行ない引き続き啓発に努めている。	有
8	4	3	公園管理費	33,880,660	47,795,000	41,902,469	監理課				
						公園管理 事業	監理課	B	①遊具の安全点検 ②樹木の剪定 ③草刈り等の業務委託 ④指定管理による業務委託 ⑤遊具の更新及び撤去を実施。	・遊具の管理については、安全点検の結果により修理又は遊具の使用を制限する。	有
8	4	4	下水事費	116,892,931	137,475,000	130,802,455	上下水道課				
						下水道事業	上下水道課	B	・町公共下水道の建設及び維持管理。 ・整備効率の高い集合処理合併浄化槽地域の整備を重視するとともに、普及地域の水洗化を図る。	・普及、水洗化促進	有
8	4	5	住居表示 事業費	60,900	55,000	5,040	住民生活課				
						住居表示 事業	住民生活課	B	・住居表示番号板の補充をした。	・市街地は、概ね実施済みである。 ・当面事業は保留としている。	無
8	4	11	平群駅周辺 整備事業費	346,109,280	1,116,539,000	671,024,560	経済建設課				
						平群駅周辺 整備事業	経済建設課	A	・平群駅西側地区12.5haにおいて、関係地権者で組合を設立し、組合施行による土地区画整理事業を進めている。 ・H23年度は、仮換地の区域指定を実施し、造成工事、家屋移転等を順次進めた。	・第2回の仮換地を実施し、年度内には、事業区域全域の仮換地指定に向けた取り組みを行う。 ・課題としては、区域内の移転家屋が多いことから、仮換地指定や事業の進捗に大きな影響がある。 ・各工事の進捗に合わせた使用収益の停止や開始の調整や移転家屋先の整備を早急に行う必要がある。 ・整地工事、都市計画道路や区画道路、公園整備工事、並びに移転補償等を行う。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
8	5	1 住宅管理費	46,430,576	41,011,000	39,875,207	監理課					
						住宅管理	監理課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅の管理として、修繕及び入居者の明け渡しに伴う内装改修工事を、町営くろもと団地3戸、改良住宅2戸、合計5戸実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で住みよい居住空間を確保することが求められている今日、町営住宅の保全に伴う修繕及び明け渡しに伴う内装改修工事を実施し、住環境の整備を行う。 ・老朽住宅対策としては、対象住宅の入居者に移転希望の確認をしたが、大半の入居者が現状維持を希望されており、何分にも意向を無視して強制的に実施出来ないため、居住者の近況も確認する中で粘り強く取り組んで行く。 	有
						社会資本整備総合交付金事業 (町営・改良住宅浴室設備設置事業)	監理課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・若葉湯の廃止に伴い、若井地区内の町営住宅及び改良住宅に浴室設備の整備を実施。 ・浴室設備設置計画に基づき、H23年度は町営くろもと団地2戸、町営若井東住宅1戸、改良住宅7戸、合計10戸に浴室設備の整備を実施。 ・公共下水道共用開始に伴い、町営西宮住宅6戸に下水道の接続及び既設トイレの改修を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備事業として、浴室設備設置事業、公共下水道接続工事、照明設備のLED化、防水工事等予定している。 	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業概要及び執行状況	平成24年度実施における現状と課題	第4次総合計画位置付(有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
9	1	1	非常備消防費	224,029,613	228,118,000	228,254,504	総務財政課				
						非常備消防管理事業	総務財政課	B	・消防団員の確保 (H24年4月1日現在) 定数 74名 実数 69名	・消防団員の定数確保 ・広域消防化への対応	有
9	1	2	消防施設費	10,130,339	16,726,000	14,038,372	総務財政課				
						消防施設整備事業	総務財政課	B	・消防施設整備の充実化を図るため、自治会に対し、規定に定めるところにより、補助金交付。 ・春日丘に防火水槽設置。	・消防施設整備の充実化を図るため、自治会に対し、規定に定めるところにより、補助金交付。 ・下垣内に防火水槽設置。	有
9	1	3	水防費	53,790	55,000	40,000	総務財政課				
						水防対策事業	総務財政課	B	・水防資材の購入。	・水防資材の整備。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
10	1	1 教育委員会費	950,800	1,062,000	1,045,900	教育委員会					
						教育委員会 定例会 学校訪問 等	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会議を12回開催し、22件の議案を審議し、図られた議案及び報告等について、活発な意見交換が行われ、滞りなく教育行政を推進することができた。 ・学校訪問は、幼稚園・各小中学校の教育課程に基づき園・学校経営方針の聴取を行い、本町の教育現場の現状を視察、懇談のうえ教育委員会から指導・助言を行った。 ・学習指導要領改訂に伴い、中学校の使用教科書を採択した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会教育委員会を計画的に開催し、必要に応じて事前に教育委員に対し、案件説明や案件資料を提供し議案及び報告等について、活発な議論が行われている。 ・学校訪問は、幼稚園・各小中学校すべての学校に訪問し、学校経営について意見交換を行い、指導・助言を行う。 	有
10	1	2 事務局費	62,701,647	66,789,000	68,039,220	教育委員会					
						幼稚園就園 奨励事業	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・私立・公立幼稚園に通園している保護者の所得状況に応じて、経済的負担の軽減等を目的とし、補助を行っている。 ・低所得者には手厚く、第3子については補助単額の限度額とするなど、補助単額の改正を行い事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度より税改正に伴う所得階層課税額及び補助金額の一部改正を行い国基準に合わせている。現状制度を維持し、近隣町の状況を把握し、私立幼稚園と公立幼稚園の補助基準を検討していく。 	有
						学校保健・ 健診事業	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健、環境衛生に係る各種検査、検診、点検を実施。検診および各種の検査をもとに健康状態を評価することで、健康の維持、疾患の予防・早期発見に役立てる。生活習慣の改善や感染症に関する予防にも努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健安全法に基づき実施し、児童生徒の心と体について健康観察、保健調査や健康診断等に基づく健康相談などを通して、児童生徒の健康の維持、増進に努めるとともに、今後も検診結果を受けての改善や感染症に関する予防にも努めていく。 	有
						福利厚生 事務事業	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・対象職員の社会保障や健康増進を目的とし、健康管理に努めた。 ・社会保険・雇用保険・労災保険等の雇用に係る各種手続きと管理及び健康診断を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険・雇用保険・労災保険等の雇用に係る各種手続き事務を進め、多様化する職員のニーズに対応した事業の検討を行い、職員の健康管理体制及び健康管理事業の充実や、執務効率の向上を図る。 	有
10	2	1 学校管理費	86,414,836	83,677,000	84,738,860	教育委員会					
						小学校施設 の管理・保守 事業	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校の建物・設備等が老朽化しており、施設用品の不具合、故障にも迅速に予算を確保し、修繕・修理を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の学校施設設備の機能維持のための修繕・補修工事のための予算を継続的に確保していかなければならない。 	有
						給食 配膳員 の配置	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター方式による給食実施により、各小学校に配膳員を配置し、衛生的、安全に給食を児童に提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校に配膳員を配置し、学校給食を衛生的かつ安全に美味しい給食を児童に提供していく。 	有
						小学校 職員の 配置	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教育の充実。 ・特別支援教育等の介助員を配置し、特別支援学級の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援対象者の増加、または障害の多様化のため、特別支援教育等の介助員を配置しており、引き続き配置していく必要がある。 	有
						小学校 用務員 の配置	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の営繕、清掃用務を遂行し、施設設備環境の機能維持のための学校用務員を配置し、職務を遂行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校施設設備環境の機能維持のため、学校用務員を配置し、職務を遂行しており、小学校用務員の職務は今後も欠かせない。 	有
						小学校 町費講師 の配置	教育委員会	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での担任・専科・少人数など実状に応じて活用し、きめ細かな学習指導、生活指導などの全面的な教育にあたった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での担任・専科・少人数など実状に応じて活用し、きめ細かな学習指導、生活指導などの全面的な教育にあたっており、引き続き配置していく。 	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)						
10	2	2	教育振興費	8,828,461	15,780,000	13,594,146	教育委員会				
						小学校就学 援助事業 (要保護、 準要保護、 特別支援)	教育委員会	B	・経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対し、学用品・給食費等の援助を行う。	・年々申請者が増加傾向にあるが、厳正に所得基準認定業務を行い、円滑に義務教育を推進していく。 ・生活保護世帯以外町単事業であるため財政的に厳しいが、事業は継続していく。	有
						小学校図書 の充実整備	教育委員会	B	・あすのす平群の事業で学校図書館に電算システムを導入して図書管理を行い、各小中学校の横断検索システムを構築した。 ・インターネットから横断検索でき、町内のどこの小中学校に本があるのかわかるシステムで、町内の学校全体で蔵書を有効活用できるようになった。	・H23年度末の学校図書館図書標準達成率は、小学校全体で79%となっている。 ・図書購入予算の確保、横断検索システムの活用もを行い、児童にとって本当に必要な本を確保し、利用してもらおう働きかけていきたい。	有
10	2	6	大規模改造 事業費	2,243,850	9,155,000	53,611,750	教育委員会				
						小学校 耐震診断・ 耐震補強 工事	教育委員会	B	・IS値0.7以上を確保するため北小学校体育館の耐震補強設計及び、西小学校体育館の耐震診断を行った。 ・今後も引き続き、国の有利な財源を確保しながら児童・生徒が日々の学校生活を安全・安心して過ごせるよう、町の耐震計画に基づき計画的かつ迅速に進めていく。	・北小学校体育館は、IS値が0.46であり、耐震補強工事と老朽化改修工事を進め、年内に完了させ、安全な教育環境を整えていく。 ・東小学校体育館耐震診断並びに校舎の大規模改修工事の設計等を行う予定。 ・財源確保の大きな課題があるが、学校施設の安全確保と避難所機能の役割を果たすことができるよう進めていく。	有
10	2	7	情報教育 推進事業費	6,195,780	6,197,000	6,139,080	教育委員会				
						小学校 情報教育 推進事業	教育委員会	A	・ICT機器のパソコン・電子黒板等情報機器を活用し、児童に情報教育の推進を図っている。	・パソコン・電子黒板を使っでの授業で集中力も高まり、幅広い教育を展開しており、今後さらにデジタル教科書など情報教材を活用して教育内容の向上を図っていく。	有
10	2	9	ことばの教室 運営事業費	216,273	229,000	226,493	教育委員会				
						ことばの教室 運営事業	教育委員会	A	・東小学校に開設していることばの教室には、近隣の町からも通級しており、未就学児の相談にも応じるなど、利用者が増加している。 ・H23年度も町費の指導員を配置し、相談・指導を行った。	・ことばの教室の児童利用者が増加している中、県費の先生2名は、引き続き配置要望し、引き続き町費指導員を1名配置をし、相談・指導を行い言語能力を高め、家庭や集団における生活能力の向上を図っていく。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
10	3	1	学校管理費	30,051,353	28,142,000	27,809,966	教育委員会				
						中学校施設の 管理・保守 事業	教育委員会	B	・中学校の建物・設備等が老朽化しており、施設設備の不具合、故障にも迅速に予算を確保し、修繕・修理を実施した。	・既存の施設設備の機能維持のための修繕・補修工事は、計画的に予算を確保していかなければならない。	有
						中学校 用務員の 配置	教育委員会	B	・中学校用務の遂行と施設設備環境の機能維持のための学校用務員を配置し、職務を遂行していく。	・中学校施設設備環境の機能維持のため、学校用務員を配置し、職務を遂行しており、中学校用務員の職務は今後も欠かせない。	有
						給食配膳員 の配置	教育委員会	B	・学校給食センター方式による給食実施により、中学校に配膳員を配置し、衛生的、安全に給食を児童に提供している。	・中学校に配膳員を配置し、学校給食を衛生的、安全に給食を児童に提供していく。	有
						中学校職員 の配置	教育委員会	B	・中学校教育の充実。 ・特別支援教育等の介助員を配置し、特別支援学級の充実を図った。	・特別支援対象者の増加、または障害の多様化のため、特別支援介助員を配置しており、引き続き配置していく必要がある。	有
						中学校 町費講師 の配置	教育委員会	A	・中学校で教科の補充講師として配置して、きめ細かな学習指導、生活指導などの全面的な教育にあたった。	・中学校で教科の補充講師として配置して、きめ細かな学習指導、生活指導などの全面的な教育にあたり引き続き配置していく。	有
10	3	2	教育振興費	16,162,767	16,358,000	15,588,893	教育委員会				
						中学校就学 援助事業 (要保護、 準要保護、 特別支援)	教育委員会	B	・経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対し学用品、給食費等の援助を行う。児童生徒の就学に要する保護者の費用負担軽減を図り、教育支援や子育て支援を推進していく。	・年々申請者が増加傾向にあるが、厳正に所得基準認定業務を行い円滑に義務教育を推進していく。 ・生活保護世帯以外町単事業であるため財政的に厳しいが事業は継続していく。	有
						ALTの配置 (外国語 指導助手)	教育委員会	A	・ALT(外国語指導助手)を中学校に2人派遣し、曜日を決めて平群幼稚園、保育園、4小学校、平群中学校で、外国語活動の補助を行った。 ・幼児児童生徒は生きた英語にふれ、興味深く学ぶことが出来た。また異なった文化、異なった価値観を持つ人とのコミュニケーション能力をしっかりと養うことができた。	・ALT(外国語指導助手)を中学校・小学校・幼稚園・保育園に計画的に派遣し、英語の表現力を伸ばせるよう取り組んでいる。 ・夏休みには外国人講師の支援を受け、各学校の現場教師の指導力の強化を図っていく。さらには幼小中の連携の活発化にも役立っている。	有
						中学校図書 の充実整備	教育委員会	B	・あすのす平群の事業で学校図書館に電算システムを導入して図書管理を行い、各小中学校の横断検索システムを構築した。 ・インターネットから横断検索でき、町内のどこの小中学校に本があるのかわかるシステムで、町内の学校全体で蔵書を有効活用できるようになった。	・H23年度末の学校図書館図書標準達成率は、中学校で84%となっている。 ・図書購入予算の確保、横断検索システムの活用もを行い、生徒にとって本当に必要な本を確保し、利用してもらおう働きかけていく。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
10	3	5	大規模改造 事業費	2,877,000	18,585,000	13,571,250	教育委員会				
						中学校 耐震診断・ 耐震補強 工事	教育委員会	B	・中学校体育館の耐震補強工事を行い、生徒達が日々の学校生活を安全・安心して過ごせるよう実施した。	・中学校校舎及び体育館の耐震補強工事は、計画どおり完了した。 ・避難施設としての機能を拡充するため国の有利な財源を確保しながら色々な側面から検討が必要である。	有
10	3	7	情報教育 推進事業費	27,452,636	2,870,000	2,777,905	教育委員会				
						中学校 情報教育 推進事業	教育委員会	A	・ICT機器のパソコン・電子黒板等情報機器を活用し、生徒に情報教育の推進を図っている。	・パソコン・電子黒板を使っでの授業で集中力も高まり、幅広い教育を展開しており、今後さらにデジタル教科書など情報教材を活用して教育内容の向上を図る。	有
10	4	1	幼稚園費	76,375,427	75,624,000	82,742,491	教育委員会				
						幼稚園 運営事業	教育委員会	A	・遊びを中心とした保育から、幼児の心情・意欲・態度を育む教育に取り組み、小学校教育につながるようにした。 ・地域とかかわる体験活動は、幼児や保護者の興味関心も高く、充実した取組であった。(茶道・英語・農業) ・町行事の参加や幼稚園ウィーク期間を利用して、幼稚園教育の啓発に努めた。 ・職員の資質向上のための研修を行った。	・幼稚園教育が義務教育及びその後の教育の基礎となることを認識し、教育課程の編成をする。 ・絵本の読み聞かせ活動を通して、言葉の感覚が養われるように取り組む。 ・体験活動を取り入れた保育を推進する。 ・園内研修を行い、職員の資質向上を目指す。また、幼保の交流ができるよう内容等を考慮する。	有
						幼稚園 職員の配置	教育委員会	A	・少人数クラスにしたことで、一人一人に十分にかかわることができ、きめ細やかな保育ができた。 ・支援を要する園児に加配講師を配置し、特性に応じたかわりをし、充実できるようにした。 ・預かり保育担当の職員を配置し、該当の園児を午後4時まで預かり、手作りおやつもあり園内で安心して過ごせるようにした。	・一人一人を大切にしたい保育ができるよう、少人数のクラス編成をする。 ・特別支援を要する幼児の特性に応じたかわりができるように加配講師を配置し、充実した園生活を過ごせるようにする。 ・特別支援コーディネーターを中心に、郡内で情報交換をし、充実した保育内容となるようにする。 ・預かり保育が充実するように、担当職員を配置する。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
10	5	1	社会教育 総務費	31,242,451	29,821,000	27,219,441	教育委員会				
						家庭教育 学級	教育委員会	B	・家庭において子どもを正しく理解し、健やかに成長していくことを願って、子どもに関わる様々な問題について、計画的・継続的に学習する場として実施した。小中学校・幼稚園において計14学級、延受講者数448名が参加した。	・家庭における教育力を高めるため、子育てに関する不安を軽減できる相談体制の充実や、親同士が情報交換をしながら子育てについて学びあう事ができるよう、引き続き推進する。 ・各学級において絵画展示会・給食試食会・食育・高校訪問などの事業を既に行った。今後も順次実施していく予定。	有
						成人式 事業	教育委員会	B	・「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ます記念すべき日」として、新成人を祝うために式典を行った。対象者 206名のうち参加者165名であった。	・開催目的に照らし、今後も引き続き実施する。実施の方法については実行委員会形式など新たな方向性も探るものとする。	有
						青少年健全 育成事業 (青少年 補導委員会)	教育委員会	A	・月1回の定例委員会において情報交換、月2回の定例巡回補導や危険から身を守るために護身術研修会を実施。平群町における青少年の健全育成及び青少年の不良化防止対策を図り、また、非行の早期発見に努めた。	・巡回補導を通じて児童、生徒及び有職・無職少年の問題行動を未然に防止できるよう、町内コンビニ、書店等溜まり場となりやすい箇所の補導活動を継続していく。	有
						青少年 地域活動 事業	教育委員会	A	・青少年(町子連、ボーイスカウト、ガールスカウト、青年団等)の積極的な地域活動への参加を推進し、活動を通して自立心を養うなど、健全育成に努めた。 ・子ども会カーニバル、ウォークラリー、夏休み地域ラジオ体操会、新春お楽しみ会等を実施した。	・町内の子ども達が一同に会し、学校や家庭だけでは体験できない遊びや活動を通じて、異年齢の子ども達との関わりの中で協調性・責任感・我慢強さ、他人への思いやりを育めるよう展開する。	有
10	5	2	公民館 総務費	27,364,056	19,831,000	23,641,499	教育委員会				
						中央公民館 運営事業	教育委員会	B	・文化芸術活動の中心として、また住民全ての交流の場として利用できるよう施設運営を図る。 ・1階談話室、2階研究室エアコン入替、高架水槽の入替、受水槽ポンプから高架水槽までの給水管設置を実施した。	・消防設備点検不備箇所の修繕の検討を進めている。 ・築40年近く経ち、施設全体が老朽化しており、建替え又は、大規模な改修が必要である。 ・公民館登録クラブが多数あるなか、部屋が取りにくいなど、ニーズに見合う部屋数がない。	有
						公民館教室 開講事業	教育委員会	B	・町内在住・在勤者を対象に地域に根ざした学習を提供する場として実施する。 ・H23年度は開講式(5月31日)を終え、22講座を実施し、6つの新しい講座を組み入れた。	・開講式(5月29日)を終え、20講座を実施している。 ・H24年度から新たな6教室を実施しているが、開講できなかった講座もあり、引き続き住民ニーズの把握に努める。	有
						文化祭 開催事業	教育委員会	A	・11月3日、5日、6日に開催。 ・町制施行40周年ということで、例年の演技発表、展示発表、模擬店に加え、お茶会の開催、無料体験コーナーを実施、昨年に引き続き、いろは街道江戸の旅を実施した。	・第1回実行委員会開催。 ・今年度の企画・運営について協議検討し、町内で行われる日頃の文化・芸術活動の集大成の場としての成功を目指す。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
10	5	4	文化財 保護費	8,682,103	10,548,000	11,184,305	教育委員会				
						埋蔵文化財 (町内遺跡) 発掘調査事業	教育委員会	—	・周知の遺跡地内における個人住宅建設に伴う発掘調査事業。調査費用はすべて公費で賄われ、その内町の負担は25%である。H23は該当事業が発生せず未執行。	・7月当初で対応する建築計画はない。	有
						国史跡・ 烏土塚古墳 の維持管理 事業	教育委員会	B	・国史跡・烏土塚古墳の環境維持管理事業。地元要望を受けて墳丘南東～東側の高石垣の雑草木除去、除草剤塗布を業者委託で実施。 ・担当者が南西～西側の高石垣や法面、東側の裏面の高木、雑草木除去を実施。 ・7.12月に平群史蹟を守る会が見学路周辺の草刈り整備を実施。	・地元要望を受けて墳丘南東～東側の高石垣の雑草木除去、除草剤塗布を業者委託で実施予定。 ・担当者が各所の高石垣や法面の雑草木除去を実施中。 ・地元有志を中心にコンクリート製見学路補修整備を実施中。 ・7.12月に平群史蹟を守る会が見学路周辺の草刈り整備。	有
						主要古墳 等の維持 管理事業	教育委員会	B	・①国重民・生駒十三峠の十三塚(約1500㎡)、②県史跡・西宮古墳(約5000㎡)、③県史跡・三里古墳(約200㎡)、④県史跡・ツボリ山古墳(約400㎡)、⑤県史跡・宮山塚古墳(約15000㎡)、⑥町指定・剣土塚古墳(約1600㎡)等の維持管理事業。 ・③～⑥の一部分は平群史蹟を守る会の協力(7.12月)で草刈り整備を実施。大半は雑木伐採を含めて担当で実施。	・前年度と同様、担当者を中心に地元有志や平群史蹟を守る会の協力により整備を実施中。	有
						重要文化財 (民家) 環境整備事業	教育委員会	A	・重要文化財民家・藤田家住宅の環境整備事業。防災施設の維持管理、敷地内の植木の選定業務が県の補助事業(50%)としてあり、町から補助金を支出。	・今後も県補助にあわせて町からも補助していく。	有
						ボランティア ガイドの 養成事業	教育委員会	A	・平群町の文化財を案内説明するボランティアガイドの養成と支援。 ・公民館講座として、観光ボランティアガイド養成講座を実施。 ・3月に発足した「平群町観光ボランティアガイドの会」の活動支援として、県の補助事業「活力溢れる市町村応援補助金」で『案内資料』を共同で編集、作成した。	・4年度目となる「観光ボランティアガイド養成講座」を実施中。あわせて平群町観光ボランティアガイドの会の活動支援も行い、スキルアップに努めていく。7月号広報とセットで前年度作成の『案内資料』を全戸配布、有効活用を図る。	有
10	5	5	生涯教育 学習事業費	322,388	464,000	379,183	教育委員会				
						へぐり友遊 教室	教育委員会	B	・住民の学習意欲を支えるための講座や子どもの学校外活動の充実を図るための講座として、年間27講座を順次開催し延423名の参加があった。 ・暮らしの安全、安心:4講座。 ・シニアステージデビュー:10講座。 ・いきいき女性教室:3講座。 ・健康・文化:5講座。 ・子ども・ファミリー向け:5講座。	・この講座で学んだ事を生かし、地域社会で活躍してもらえる人材を育成し、人生をいきいきと過ごすことのできる基礎となる学習講座を企画運営していく。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目 (目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
10	5	6	980,167	946,000	792,020	教育委員会					
						人権問題 地区別 懇談会事業	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地区懇の開催自治会数の減少を踏まえ、7月19日に地区懇見直し検討委員会を開催し、検討を行った。小地域ネットワークが広がって来ているのは、今まで地区懇を続けてきた成果であるとも考えられ、しばらく様子をみていこうということになった。 ・H23年度の地区懇開催自治会は9つで、昨年度と同数であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月26日に地区懇見直し検討委員会を開催し、本年度の運営方法について検討する。出来るだけ多くの住民に参加してもらえるような工夫が必要である。 	有
						人権教育 指導者 学習会事業	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の推進のため、行政職員及び地域住民を対象に、指導者養成の研修を行っている。 ・H23年度は、中島孝之氏による「認知症を支える地域づくり」、末松保喜氏による「子どもの育ちを見抜く眼」と題した講演会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・布施正保氏による「命の尊さを考える」、上宮俊一氏による「こどもの人権を守るまちをめざして」と題した講演会を実施。講演内容によって参加者の対象を広げる工夫が今後の課題である。 ・人権尊重の街づくりを推進するため、今後も人権問題に関する教育活動を展開して、リーダーを養成する。 	有
10	5	13	0	1,600,000	0	教育委員会					
						文化財 保護事業	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・営利目的に伴う発掘調査で、経費は100%原因者負担。 ・3月末より4月にかけて信貴山玉蔵院事務所建て替えに伴う発掘調査を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月上旬まで、前年度より玉蔵院の調査を実施(調査経費はH24年度の収支に反映)。 	有
10	5	16	478,207	143,000	109,073	教育委員会					
						子ども人権 学習教室 事業 ～へぐり ai教室～	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度は7回開催し、参加延べ人数は170名であった。 ・アンパンマン人形作りや、理科工作の雷の製作実験など子どもにとって興味惹かれる教室を開催することができ、他に料理教室や囲碁教室などを開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度で終了 	有
						放課後 子ども教室	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度は、隔週水曜日、年間20回実施した。 ・児童の参加率は83.2%。 ・指導者は、毎回3～5人で一人ひとりの児童をきめ細かく指導できる体制である。放課後の子どもたちの安全で安心して活動できる居場所づくりと、地域の大人が地域の特色を生かして子どもたちと一緒に活動することで、子どもの人間力や規範意識を醸成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月20日(金)第1回運営委員会開催。 ・5月23日(水)開講式。 ・H24年度は児童の参加人数11名、指導員8名で出発した。 ・開催日は隔週の水曜日で年間20回を予定している。 ・今年の特徴としては参加児童が、1年生が5名、5年生が6名である。このことを活用して、低学年と高学年のペアを組み、支え、支えられることの体験を深めたい。 	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業 事業概要及び執行状況	平成24年度実施 における現状と課題	第4次 総合計画 位置付 (有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
10	5	18	観光文化交流館 運営費	14,811,455	25,561,000	37,831,383	教育委員会				
						観光文化交流館・ 図書館 運営事業	教育委員会	B	・観光文化交流館として地域資料の収集提供や、情報発信を行うと共に、図書館として図書・雑誌・視聴覚資料などの選書や購入、相互貸借により利用者に提供した。また、インターネットサービスとしてWEB予約・メールによる連絡サービスを開始。	・H24年度の重点事業としては、ホームページのリニューアルを行い、インターネットを通して利用拡大を図る。 ・DAISY図書の提供など障がい者のためのサービス向上に努める。	有
						学校図書館 支援事業	教育委員会	A	・住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、町内小中学校図書館に電算システムを導入、町立図書館と学校図書館間の横断検索システムの構築、図書室の環境整備、蔵書の充実を図った。	・H23年度学校図書館支援事業の成果をさらに継続発展させるために、学校司書の配置が必要であるが、当面は学校と町立図書館が連携協力しながら学校図書館の活性化に努める。	無
						子ども読書活動 推進事業	教育委員会	A	・地域子育て創生事業により、“なつやすみとしょかんひろば” “あかちゃんえほんのひろば”の開催、絵本・児童書(約500冊)の充実、ブックスタート配布用の絵本のリストの作成を行った。 ・軽乗用車(あすのすザウルス号)を購入し、学校・園、町内施設へのアウトリーチサービスに役立てている。	・町内施設へのアウトリーチサービス、および”なつやすみとしょかんひろば”、“あかちゃんえほんのひろば”を引き続き実施。 ・平群町子ども読書活動推進計画の策定と周知に努める。	無
						地域資料整備 事業	教育委員会	B	・緊急雇用創出事業を活用し、平群関係の資料約800点を収集整理し、あすのすコーナーの見出しサインなどを使いやすく整備した。	・H24年度も、緊急雇用創出事業を活用し、行政資料と貴重資料に重点を置き、引き続き地域資料の整備に当たる。	無
10	5	20	教育支援活動 促進事業費	0	1,062,000	683,058	教育委員会				
						学校・地域 連携事業	教育委員会	B	・地域ぐるみで学校を支援するため、学校が必要とする活動について、地域の方にボランティアになっていただいで、様々な形で学校や子どもたちを支援する。 ・主に放課後の子ども教育教室での指導、登下校見守り活動、校内の整備活動、家庭科実習、クラブや部活動の指導等の支援をしていただいた。	・登下校時の見守り活動や部活動の指導など、昨年と同様ボランティアによる飼育小屋の改良等の支援活動が行われる。 ・今後、放課後子ども教室の指導員の確保等が課題となっている。	無

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業概要及び執行状況	平成24年度実施における現状と課題	第4次総合計画位置付(有・無)	
款	項	目	(目)名称	決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)							決算見込額 (繰越含) (円)
10	6	1	保健体育総務費	73,652,573	61,806,000	61,163,049	教育委員会					
							社会体育行事 (各種大会・教室)	教育委員会	A	・町民「1人1スポーツ」を目指し、スポーツを通じて広く交流を深めると共に、体力づくり、健康の保持増進、生涯スポーツの推進に取り組む。	・4月 春の歩く会など 3大会、5月 ゲートボール大会など 4大会、6月 町村会杯など2大会。 ・年間を通じて20の大会等を実施し、積極的な取り組みを行っているが、高齢者の増加や参加者がニーズの変化に伴い、既存の種目では参加者の減少傾向にある。	有
							体育施設管理事業	教育委員会	B	・総合スポーツセンター、中央公園・北公園・健民グラウンド、各テニスコートなど、各種公共施設の適正な維持管理。	・ウォーターパーク開場に向け、プールサイド防滑シート張替え工事を実施した。 ・H22年度から、改めて4年間の指定管理者を選定し、維持管理につとめているが、各施設において設備・備品の老朽化が目立ち、利用者の安全性を考慮すると、毎年一定額の維持補修費が必要。	有
10	6	2	学校給食センター費	94,999,142	93,490,000	79,332,982	教育委員会					
							学校給食事業	教育委員会	A	・学校給食共同調理場として、小・中学校一環した完全給食を実施。安定した食材で栄養バランスのとれた美味しい給食を児童、生徒に提供している。又、地産地消事業の推進を行っている。 ・H23年度の給食数は、小学校1,094食、中学校494食、合計1,588食の給食を実施。 ・牛乳・卵アレルギーの児童・生徒に代替食を提供している。	・計画的に調理機器等の入替えを進める。 ・地産地消事業を引続き推進しアレルギーのある児童・生徒に対しても除去食や代替食について具体策を講じていく。	有
10	6	3	スポーツ推進事業費	552,539	611,000	581,004	教育委員会					
							さわやかスポーツ教室	教育委員会	B	・一般成人・中高年の体力づくりやスポーツ体験等、人との交流を目的とし、主に軽スポーツやハイキングを実施。	・前期5回(5月～6月)終了、後期5回(10月～11月)実施予定。 ・ここ数年は、ある程度参加者が固定化されていることから、若年層の成人も参加出来るような事業メニューの見直しと指導者の確保が必要。	有
							夏のふれあいスポーツ教室	教育委員会	B	・身体障がい者(児)と健常者が水遊びを通じてふれあい、相互の友愛と障がいに対する理解を深め、教育・福祉の向上を図ることを目的とする。	・8月1日、20日にウォーターパークで開催予定。	有
							水泳教室	教育委員会	A	・初心者を中心に泳ぎ方、息継ぎの仕方を指導する。また基礎泳法の習得を目指し、夏休み期間中に7日間開催する。	・7月21日～27日の間、東小プールで実施予定。	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業概要及び執行状況	平成24年度実施における現状と課題	第4次総合計画位置付(有・無)
款	項	目	(目)名称 決算額 (円)	当初予算額 (繰越含) (円)	決算見込額 (繰越含) (円)						
11	6	5	学校体育施設 開放事業費	167,104	492,000	453,437	教育委員会				
						学校体育 施設開放 事業	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ及びレクリエーションの振興を図るため、町立学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で町民に開放する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて平均した利用があり、一般住民のスポーツ振興に貢献しており、少年少女スポーツクラブには無料開放している。 ・今年度は、北小学校が体育館の改修工事をするため、他の学校施設利用者の協力により、総合スポーツセンター体育館や各学校に分散して利用していたく予定。 ・毎年度、一定の維持補修経費や施設備品の充実が必要である。 	有
11	6	6	体育指導 委員事業費	576,740	608,000	582,500	教育委員会				
						スポーツ 推進委員会 (体育指導 委員会)	教育委員会	B	<ul style="list-style-type: none"> ・町におけるスポーツ振興、またそのためのコーディネーターとして、スポーツの実技指導、助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少年少女スポーツ大会やさわかスポーツ教室等での実技指導を行っている。 ・指導者の高齢化が目立っており、より若い世代の指導者の育成が必要である。 	有

平成23年度

平群町政策基本体系表

予算科目			H22	H23	H23	事務・事業名	主務担当課	評価	平成23年度事務事業概要及び執行状況	平成24年度実施における現状と課題	第4次総合計画位置付(有・無)
款	項	目(目)名称	決算額(円)	当初予算額(繰越含)(円)	決算見込額(繰越含)(円)						
11	2	1	道路橋梁災害復旧費	9,119,671	8,310,000	26,532,932	経済建設課				
						公共土木災害事業	経済建設課	B	・H22年度繰越事業の北櫛原54号線、櫛原路線道路災害復旧工事、H23年8月27日の豪雨に伴う北櫛原146号線道路災害復旧工事(外町単独復旧工事9ヶ所)を実施した。	・6月22日、7月7日の豪雨により発生した公共施設災害、補助分(3件)、町単独(12件)分の災害復旧工事について、補助採択や地元調整等の準備を進めている。	無
12	1	1	元金	783,051,664	721,100,000	707,436,146	公債費	総務財政課	B	・発行起債の適正管理	・土地開発公社解散による起債償還が今後発生
12	1	2	利子	136,879,009	162,300,000	141,701,467	公債費	総務財政課	B	・発行起債の適正管理	・土地開発公社解散による起債償還が今後発生
15	1	1	予備費	0	19,542,000	0	予備費	総務財政課	B	・適切な執行管理	・適切な執行管理

歳出合計	7,399,989,579	7,385,009,000	6,834,052,389
------	---------------	---------------	---------------

※平成23年度当初予算額、及び平成23年度決算見込額に、平成22年度からの繰越明許費を含む。